

Compass セットアップマニュアル Windows 10 用

2021年1月22日版

■試験関係者向け資料 ■株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ

会場 ID :

目次

1. はじめに 1.1. お問合せ窓口 1.2. Web サイトについて	.1 .1 .1
 Compass について 2.1. Compass で実施可能な試験 2.2. Compass と共存可能な試験 2.3. Compass セットアップファイルの入手、バージョン確認方法	. 2 . 2 . 2 . 2
 3. 試験環境の構築 3.1. 試験専用環境の構築 3.2. プロキシ、ファイアウォール利用時の注意点 3.3. 試験マシンのセットアップの流れ 	.4 .4 .5
 4. Windows 10 の設定 4.1. 使用可能なエディション、バージョン 4.2. Windows 10 のインストール 4.3. 試験マシン用環境設定 	.7 .7 .7 .8
 4.3.1. ユージーアカウントの作成 4.3.3. 自動更新の無効化(グループポリシーの設定) 4.3.4. Windows Update サービスの停止 4.3.5. セキュリティに関するメッセージの設定 	.9 12 13 14
 4.3.6. コンピューター名とワークグループの設定 4.3.7. ドキュメント フォルダーの場所の設定 4.3.8. 電源オプションの設定 4.3.9. 日付と時刻の設定 	14 15 15 16
 4.3.10. システム音量の設定 4.3.11. 拡張子の表示	16 17 17 18 18
 Office アプリケーションの設定 5.1. Office アプリケーションのインストール時の注意点 5.2. 使用可能な Office 製品 5.3. Office 2019 の設定 5.3.1. Office 2019 のインストール 	19 19 19 20 20
 5.3.2. データの保存先、ユーザー名の確認(2019 共通) 5.4. Office 2016 の設定 5.4.1. Office 2016 インストール形式の確認 5.4.2. データの保存先、ユーザー名の確認(2016 共通) 5.4.3. Outlook 2016 の設定(2016 共通) 	24 25 25 32 33
 5.1.5.1 Office 2013 の設定 (2010 久健) 5.5.1. Office 2013 インストール形式の確認	34 34 39 40
 6. Photoshop、Illustratorの設定(ACA CC 2020のみ)	+1 42 42 43
7. その他の設定	14 44

	7.2. 73	既定のプログラムの設定	45 46
	7.3.	1. IME ツールバーをタスクバーに固定する設定(MOS 2019/2016、VBA エキスパート)	46
	7.3.	2. IME ツールバーをフロート表示に設定(MOS 2013、IC3、ACA、MTA、MCF)	47
	7.3.	3. 画面中央に IME 入力モード切替の通知を表示する(Windows10 20H2 の場合)	48
	7.3.	4. 予測入力を無効にする設定	49
	7.4.	Adobe Acrobat Reader DCの設定	50
	7.4.	1. Adobe Acrobat Reader DC のインストール5	50
	7.4.	2. Adobe Acrobat Reader DC の設定5	50
	7.5.	Microsoft Edge の設定	51
	7.6.	Microsoft .NET Framework の確認	52
	7.7.	標準設定バッチファイル作成(MOSのみ)	52
8.	С	Compassの設定	53
	8.1.	Compassのセットアップの流れ	53
	8.2.	Compass のインストール	54
	8.3.	試験環境の準備	54
	8.3.	1. 初期設定(試験会場と更新のタイミングの設定)	54
	8.3.	2. アップデートの適用	55
	8.3.	3. 試験のダウンロード	56
	8.4.	リハーサル試験の実施(MOSのみ)	58
	8.5. 8.6	こして、 この して、 の 生前確認 に、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	59 50
	8.0. 8.6	105 の宇的唯誌 1 付尾のリフトウェアのインストール確認	50
	0.0. 8.6	1. 「「「「「「」」」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」」、「」、「」、「」、	50
	87	更新ファイルのインポートとエクスポート	50 51
	8.7.	2. 更新ファイルのエクスポート(1 台目マスター用の進備)	51
	87	2 更新ファイルのインポート (2台目以降のマシン) $(1 - 1)$	52
	8.8.	その他の項目について	54
	8.8.	1. About compass	54
	8.8.	2. Office Compatibility	54
	8.9.	Compassのアンインストール	55
٥	≣л		.7
9.	دة 0 1	QC / エックラスト)/ 57
	9.2	ションクノム _{博成}	58
	9.3.	Office アプリケーションの設定	59
	9.4.	Adobe Creative Cloud の設定	59
	9.5.	その他の設定	70
	9.6.	Compassの設定	70

• Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

• Adobe、Reader は、米国 Adobe の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

• その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

 株式会社オデッセイ コミュニケーションズの承諾を得ずに、本マニュアルの一部または全部を弊社契約試験会場で 使用する以外に無断で転載・複製することを禁止します。

• 本マニュアルの情報は、2021年1月22日現在のものです。最新情報は、会場サポートサイトをご確認ください。

改版履歴	
2020/09/21	Compass バージョンアップに伴い、7.9.2. Office Compatibility 更新
2020/10/01	サポートサイト URL 変更に伴い更新
2020/11/02	MCF リリースに伴い更新
2021/01/22	Windows10 20H2/Microsoft Edge サポート開始、MOS 科目名変更、IC3 GS4/ACA2015 終了、 ACA2020 開始に伴い更新

1. はじめに

このマニュアルは、Certiport 社の試験配信システム「Compass」(コンパス)のセットアップマニュア ルです。Windows 10 マシンで MOS 等実施の試験環境を構築する場合は、必ずこのマニュアルに従 ってセットアップを行ってください。

1.1. お問合せ窓口

■ インストールでトラブルなどが発生した場合は、以下のサポート窓口までお問合せください。

■ 受付時間中は、詳細をお伺いしますので、電話にてご連絡をお願いします。

	試馬	受験者		
電話番号	0120- *受験者には案内	03-5293-1881		
E メール	atc@odyssey-com.co.jp		mail@odyssey-com.co.jp	
受付時間	技術サポート 月曜〜土曜 9:00〜19:45 日曜・祝日 9:00〜18:00	事務手続き 平日 9:00~18:00 (土日・祝日を除く)	平日 10:00~17:30 (土日・平日を除く)	
サポート内容	サポート内容 ・試験環境の構築 ・試験中のトラブル ・試験の申込 ・入金状況の確認		・試験全般の問合せ ・認定証が届かない ・改姓した	

1.2. Web サイトについて

- 試験管理サイト(会場サポートサイト) https://ocisupport.odyssey-com.co.jp/
 - 試験管理、試験会場向けの各種情報、マニュアル類等のご案内
 - (株)オデッセイ コミュニケーションズ運営(一般には非公開)
- Certiport Web Portal https://certiport.pearsonvue.com/
 - 試験結果の確認、第三者への公開
 - Certiport 社運営
- デジタル認定証・受験者登録 https://www.odyssey-com.co.jp/id/
 - 受験者 ID の登録、試験結果の確認方法、受験者 ID の統合などのご案内
 - (株)オデッセイ コミュニケーションズ運営

2. Compass について

2.1. Compass で実施可能な試験

Windows 10 pro	MOS 2019	MOS 2016	MOS 2013	IC3	МТА	MCF	ACA	VBA
バージョン 1803	×	×	〇 *注1	×	×	×	×	×
バージョン 1909	0	0	Δ	0	0	0	0	0
バージョン 20H2	0	0	Δ	0	0	0	0	0

Windows 10 + Compass では、以下の試験を実施できます。

注意 1	MOS PowerPoint 2013 と MOS Outlook 2013 を実施する場合は、Windows 10 Pro バージョン 1803 の利用を継続してください。もしくは Windows 8.1 環境をご用意くだ さい。 MOS PowerPoint 2013、MOS Outlook 2013 以外の科目は 1803 以上のバージョンでも 実施可能です。
注意 2	今後の動作確認は Windows10 バージョン 20H2 でのみ行います。
注意 3	Windows 10 バージョン 2004 のサポート開始の予定はございません。

2.2. Compass と共存可能な試験

Compass をインストールした試験マシンは、Odyssey CBT の各試験と共存できます。 旧試験システム Console 8 とは共存できません。Console 8 がインストールされている場合は、アンイ ンストールして環境を構築してください。詳しくは「8.Compass の設定」をご確認ください。

2.3. Compass セットアップファイルの入手、バージョン確認方法

最新版の Compass のセットアップファイルは、会場サポートサイト TOP>試験システム>Compass (セットアップファイルのダウンロード、アップデート情報)からダウンロードしてください。 バージョン情報についても、会場サポートサイトをご確認ください。

2.4. 必要システム構成

シ	ステム	必要構成					
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)					
RAM		基本:4GB以上、ACA:8GB以上					
HDD · SSD		C ドライブの設定容量 100GB 以上推奨 空きデータ領域 15GB 以上推奨					
OS *1		 Windows 10 Pro 64 ビット版(推奨) * 2、または 32 ビット版 November 2019 Update バージョン 1909 October 2020 Update バージョン 20H2 ※PowerPoint 2013、Outlook 2013 を実施する場合は、Windows 10 Pro バージョン 1803 をご利用ください。(バージョン 1803 以外は使用不可) 					
	MOS2019 * 3	Microsoft Office Professional Plus 2019 64 ビット版(Version 1808) Microsoft Office Professional 2019 64 ビット版(Version 1908)					
アプリ	MOS2016	Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版(16.0.4266.1001) Microsoft Office Professional 2016 32 ビット版(16.0.7571.2109)					
ケーシ ヨン	MOS2013	Microsoft Office Professional Plus 2013 32 ビット版(SP1 対応) Microsoft Office Professional 2013 32 ビット版(15.0.4569.1507 対応)					
	ACA2020	Adobe Creative Cloud2020 *4 • Photoshop 2020 Version 21.x • Illustrator 2020 Version 24.x					
	サイズ	17 インチ以上					
画面 *5	解像度	基本:1280×1024以上(ワイド画面可)*6 MTA、MCF、IC3、VBA エキスパート:1024×768 利用可 ACA:ワイド画面 1280×800 以上(推奨:1920×1080)					
	文字サイズ	100%					
キーボード		JIS 配列 日本語キーボード(106 以上)					
マウス		ボールまたは光学式 2 ボタンホイールマウス					
プリンター		試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと					
OS アカウント		Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施					
通信環境		インターネット常時接続					
		HTTP(80 ポート)および HTTPS(443 ポート)で、双方向通信を確立					
		Microsoft Edge Chromium版 *7					
その他の ソフトウ) !エア	Adobe Acrobat Reader DC					
		Microsoft .NET Framework 4.7 以上					

*1 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

*2 MOS2019、ACA2020 は Windows 10 Pro 64 ビット版のみサポートです。

*3 Build 番号の指定は無く、バージョンが一致していれば問題ありません。

*4 第三者利用可能な Adobe CC ライセンス(共有デバイスライセンス)が必要です。

*5 複数のモニタ接続は不可。接続している場合は、サブモニタの電源を切ってご利用ください。

*6 MOS 2013、MOS 2016、MOS2019 はアプリケーション画面が著しく小さくなるため、1024×768 は利用できません。(参考:会場サポートサイト TOP>試験システム>試験別 画面解像度一覧)

*7 レガシー版(2020年1月15日以前の Ver)はサポートいたしません。

3. 試験環境の構築

受験者情報の確認、試験結果のアップロードを行うため、試験マシンはインターネットに接続されてい る必要があります。試験マシン以外には、試験結果レポートの印刷用プリンターが必要です。共有プリ ンターは、印刷負荷がかかるため、試験を実施しないマシンに接続して使用してください。プリントサ ーバの使用を推奨します。



3.1. 試験専用環境の構築

試験用の OS 環境に、講座用のプログラムやツール、模擬試験プログラムなどがインストールされていると、試験実施時のトラブル要因となります。また、同じ環境に複数バージョンの Office をインスト ールしての試験実施はできません。以下のいずれかの方法で、試験専用環境を構築してください。

- 運用例 1 : 試験専用の PC を用意
- 運用例2:Windows 付属のブートマネージャーを利用して、講座環境と試験環境をそれぞれ構築。 試験実施のときは試験環境のブートで起動。
- 運用例 3: Norton Ghost など、市販のディスクイメージソフトを使用して、講座環境と試験環境をそれぞれ構築。通常は講座環境を利用して、試験実施のときに試験環境を復元。(複数マシンに同時にイメージ展開するときは、ライセンス認証にご注意ください。)

注意1 「瞬快」など、マシンを起動したときに各種設定を初期化するツールやソフトウェアは、使用しないでください。試験を正常に終了できなくなる場合があります。 注意2 「SKYMENU」など教員用 PC から生徒用 PC のキーボードやマウスを一斉に操作できるソフトウェアは、使用しないでください。

3.2. プロキシ、ファイアウォール利用時の注意点

プロキシ、ファイアウォール、IP フィルターを利用して、試験環境を構築する場合は、

「certiport.com」ドメインとすべてのサブドメイン「*.certiport.com」が、ポート 80(HTTP)、 443(HTTPS)、56774 (TCP)をフルアクセスで通過できるように設定してください。

なお、「*.certiport.com」では許可する範囲が広すぎる場合は、以下のサイトをホワイトリスト(安全 が確認されている対象リスト)に登録してください。

ホワイトリスト

- •159.182.30.18 | www.certiport.com
- •159.182.31.253 | nuget.certiport.com
- •93.191.169.139 | Additional Security IP
- •159.182.30.17 | downloads.certiport.com
- •159.182.30.17 | verify.certiport.com
- •191.232.166.33 | azuresouthamerica.starttest.com
- 51.140.142.254 | azureeurope.starttest.com
- •104.211.154.51 | azureindia.starttest.com
- •40.122.173.143 | azureuscentral.starttest.com
- 168.63.220.86 | azurehongkong.starttest.com

- 64.27.100.27
- 64.27.64.232
- 64.106.193.0/24
- 64.106.220.0/24
- 206.188.17.0/24
- 159.182.0.0/16
- 13.107.246.0/24
- 13.107.253.0/24
- 147.243.0.0/16

注意 1	 HTTP リダイレクトを許可してください(リダイレクトはすべて certiport.com ドメイン内で完結します)。 SOAP HTTP トラフィックをブロックしないでください。(SOAP:simple object access protocol) 認証を必要とするプロキシサーバー経由でインターネットへのアクセスが行われ、かつシステムが自動的に証明書を発行しないように設定されていると、試験実施中に問題が発生する場合があります。
注意 2	159.182.30.17 はホストヘッダーを利用して、ひとつの IP アドレスを複数サイトで共有 できるようになっています。
注意 3	一般的なプロバイダー契約でインターネットを利用している場合は、 登録の必要はありません。
注意 4	 上記設定をされても Certiport サイトなどにアクセスできない場合は、アクセス制限なしの サイトとして、以下の URL を登録してください。 http://*.pearson.com https://*.pearson.com http://*.pearsonvue.com https://*.pearsonvue.com http://*.starttest.com https://*.starttest.com http://*.starttest2.com https://*.starttest2.com http://*.startpractice.com https://*.startpractice.com http://*.programworkshop.com https://*.programworkshop.com http://vueapbrowser.starttest.com/?program=CertiportSB

3.3. 試験マシンのセットアップの流れ

正しい試験環境を構築するため、本マニュアルに従って漏れのないように各設定を行ってください。

※このページには一部の設定項目のみを記載しています。



4. Windows 10 の設定

4.1. 使用可能なエディション、バージョン

試験マシンで使用できる Windows 10 のエディションとバージョンは以下の通りです。(今後の動作確

認はバージョン 20H2 のみで行います。)

- ・ Windows 10 Pro November 2019 Update バージョン 1909
- ・ Windows 10 Pro October 2020 Update バージョン 20H2

注意 1	Enterprise、Education、Home など Pro 以外のエディションはサポート対象外です。 Windows 10 Pro for Workstations もサポート対象外です。
注意 2	MOS2019 は Windows 10 Pro 64 ビット版のみサポートです。
注意 3	PowerPoint 2013、Outlook 2013 を実施する場合は、Windows 10 Pro バージョン 1803 をご利用ください。バージョン 1803 以外はご利用になれません。
注意 4	新 Ver がリリースされると旧 Ver の ISO イメージが入手不可となります。 最新版がリリースされる毎に、Microsoft 社のサイトより ISO イメージのダウンロード・保 管をお願いします。(会場サポートサイト TOP>試験システム> Windows 10 サポートバ ージョンとアップデート方法 内の、「ISO イメージ作成方法」参照)

4.2. Windows 10 のインストール

Windows 10 をインストールする時は、下記の事項に注意してインストールを行ってください。

- 必ず C ドライブにインストールしてください。
- アップグレード版 OS を使用する場合は、「カスタム」を選択して、新規インストールを行ってください。「アップグレード」を選択して旧 OS に上書きした環境は、動作を保証できません。
- デバイスマネージャーで各種ドライバーがインストールされているか確認してください。
 特にビデオドライバーは、Windows 10 対応版がインストールされているか確認してください。
- 第三者の利用が認められている Rental Rights の対象となる正規ライセンス製品をご利用ください。
- OSのライセンスは、そのインストール形態に応じて必要数分の正規ライセンスをご用意ください。 なお、本マニュアルに記載された内容に従って試験が実施されているかどうかを検査するために、 当社または当社の指定した第三者が通常の営業時間中に試験会場を検査することがあります。あら かじめご了承ください。
- Windows がライセンス認証されていることを必ず確認してください。
 - ①スタートボタン>設定(歯車のアイコン)>詳細設定>プロダクトキーの変更または Windows
 のエディションをアップグレード をクリック

②ライセンス認証ウィン	← 設定		
ドウが表示されるので、		= 1 + 1	20H2
「Windowsはデジタル	ώ π-4	712/	く記念言止
ライセンスによってラ	設定の検索の	Windows	
イセンス認証されてい	更新とセキュリティ	エディション	Windows 10 Pro
ます」の表示を確認		ライセンス認証	Windows はデジタル ライセンスによってライセンス認証されてい ます
	C Windows Update		詳しい情報
			22.20.2022/2010



4.3. 試験マシン用環境設定

4.3.1. ユーザーアカウント制御(UAC)の有効化

Compass は、ユーザーアカウント制御が「プログラムがコンピューターに変更を加えようとする場合 のみ通知する」の状態で、管理者として実行する必要があります。ユーザーアカウント制御が無効(変 更を通知しない)になっていると、Compass が正常に稼働しないので、以下の設定を必ず確認してく ださい。(Windows 10 の既定の設定では、変更を通知する設定になっています。)



本マニュアルの設定手順の中では、[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスの表示 注意! について一部割愛しています。[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示され たら [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください。

フルネーム

rator

co...

🛃 odyssey

4.3.2. 試験用ユーザーアカウントの作成

試験用のユーザーアカウントをローカルの Administrator 権限で作成します。

- コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [コンピューターの管理] をダブルクリック
- ② [コンピューターの管理] ウィンドウの [ローカル ユーザーとグループ] を展開して、[ユーザー]
 フォルダーを選択

🌆 コンピューターの管理

🗢 🔿 🚺

באעב 🚪

🗸 👔 シス

> 🕒

> 8

🗸 🌆 🖬

🗸 🚰 記憶域

> 🕺 共有フォルター

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

ヘルプ(H)

ユーザー グルーフ > ③ パフォーマンス 書 デバイスマネージャー

カル・フーザーとグループ

新しいユーザー(N)...

最新の情報に更新(F)

一覧のエクスポート(L)...

 ③ メニューの [操作] > [新しいユーザー] を クリック

ユーザー名(U): odyssey フルネーム(F): 説明(D): /(スワード(P): ●●●●●●● /(スワードの確認入力(C): ●●●●●●● ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
フルネーム(F): 説明(D): /(スワード(P): /(スワードの確認入力(C): ●●●●●●● □ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
説明(D): /(スワ−ド(P): /(スワ−ドの確認入力(C): □ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
/(スワード(P): /(スワードの確認入力(C): ●●●●●●● □ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
□ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
□ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)	
and the second	
<u>」ユーザーはハスリートを変更できない(S)</u>	
 アカウントを無効にする(B) 	

チェックをはずして、[パスワードを無期限にする] に チェックを入れて、[作成] ボタンをクリックし、[閉 じる] ボタンをクリック

 ④ ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力後、[ユー ザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要]の

*このマニュアルでは odyssey というユーザー名にしています。

注意! ユーザー名に	こ、ハイフンやアンダーバーなどの記号は使用しないでください。
ユーザーパン	ペワードは必ず登録してください。

⑤ 作成したユーザーアカウントをダブルクリック

🌆 コンピューターの管理		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ^	ノルプ(H)	
マージャンシューターの答理(ローカル)		711 + 1
	谷町 記 Administrator 記 DefaultAcco 記 Guest	ノル イーム
 ・ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	odyssey	

- ⑥ [所属するグループ] タブを選択して、表示されている [Users] グループを選択し、[削除] ボタンをクリック
- ⑦ 削除されたら [追加] ボタンをクリック

Odysseyのプロパティ	?	×
全般 所属するグループ プロファイル		
所属するグループ(<u>M</u>):		
ユーザーのグループ メンバー: 違加(D) 削除(R) は、そのユーザーが次にログ: なりません。	シップに対する変更 オンするまでは有す	更効に
OK キャンセル 適用(A)	~JI-7	f

 ⑧ [グループの選択] ダイアログボックスの「詳細設 定」ボタンをクリック

グループの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
グループ オブジェク	トの種類(O)
場所の指定(F):	
DESKTOP-NNLJQ1P 場	所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (<u>例)(E</u>):	
DESKTOP-NNLJQ1P¥Users 名前	の確認(C)
詳細設定(A) OK	キャンセル

 ⑨ [検索]ボタンをクリックして検索結果画面に名前の 一覧が表示されたら、[Administrators]を選択して [OK]ボタンをクリック

クループ の選択			
オブジェクトの種類の選択(S):			
グループ		オブ	ジェクトの種類(O)
易所の指定(F):			
DESKTOP-NNLJQ1P			場所(L)
共通クエリ			
名前(A): 次の文字で始まる >			列(C)
説明(D): 次の文字で始まる >			検索(N)
 □ 無効になっているアカウント(B) □ 無期限のパスワード(X) 			中止(T)
前回ログオン時からの日数()):	\sim		/
		OK	キャンパクル
è索結果(U):		ОК	キャンセル
续弊結果(U): 前	フォルダー	ОК	キャンセル
梁結果(U): Access Control Assistance Operators Administrators	フォルダー DESKTOD NNU	ОК	キャンセル
读稿果(U): 前 Access Costosi Assistance Operators Administrators generato persona	7+JV9- DESKTOP NNL DESKTOP-NNL.	ОК	キャンセル
操結果(U): 前 Administrators guncup Operators (Cyptographic Operators	7#JUJ- DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL	OK	キャンセル
k索結果(U): 前 Access Casted Assistant Operators Generators Caytographic Operators Distributed COM Users	77/JUS- DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL	ОК	キャンセル
朱結果(U): 前 Administrators Journey Operators Cryptographic Operators Distributed Col Users Event Log Readers	77/L/5- DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL	OK	キャンセル
東京結果(U): 前 Administrators (Cyptographic Operators Qistributed COM Users Scient Log Readers Suests	7#1/27- CSECTOR NUL DESKTOR-NNL DESKTOR-NNL DESKTOR-NNL DESKTOR-NNL	ОК	キャンセル
象索結果(U): 前 Administrators generation Operators Cryptographic Operators Distributed COM Users Event Log Readers Guests Hyper V Administrators Distributed COM Users	7#1//#- DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL	ОК	+vyt/l
検索結果(U): 前 Administrators Administrators Administrators Acrystographic Operators Acrystographic Operators Acrystographic Operators Acrystographic Odd Acrystographic Operators Acrystographic Odd Acrystographic Odd	7#1/// DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL DESKTOP-NNL	ОК	キャンセル

 ① 「XXXX¥Administrators」の表示を確認して[OK] ボタンをクリック
 * XXXX はコンピューター名になります。

グループの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
シルーク 場所の指定(F):	オノシェクトの種類(O)
DESKTOP-NNLJQ1P	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
DESKTOP-NNLJQ1P¥Administrators	名前の確認(C)
詳細設定(A)	DK キャンセル

(11)	「斫屋すろグリープ」に Administrators が丰三され					
Ē	[$////////////////////////////////////$	odysse	yのプロパティ		?	×
		全般	所属するグループ	プロファイル		
		所属	するクルーフ(M): Administrators			
12	[Ctrl] + [Alt] + [Delete] キーを押す					
		i	追加(D)	ユーザーのグループ メンバーシップ 削除(R) は、そのユーザーが次にログオン3	に対する変更 るまでは有多	更 効に
				なりませれ。	A 11 -	f
			OK	1777ビル 通用(A)		
13	[ユーザーの切り替え] をクリック			ロック		
				ユーザーの切り替え		
				サインアウト		
				パスワードの変更		
				タスクマネーシャー		
				キャンセル		

④ 新しく作成したユーザーを選択してログイン
 *ログイン画面の背景は、お使いの環境によって異なります。

これ以降の設定は、作成したユーザーアカウントで、 必ずログインし直してから行ってください。



4.3.3. 自動更新の無効化(グループポリシーの設定)

グループポリシーを利用して自動更新を無効にします。

- ① スタートボタンを右クリック > ファイル名を指定して実行 をクリック
- ② 「gpedit.msc」と入力して [OK] ボタンをクリック
- コンピューターの構成 >管理用テ 圓 ローカル グループ ポリシー エディター 3 \times ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) ンプレート > Windows コンポーネ 🗢 🔿 💼 🔜 💀 🖓 🖛 ント > Windows Update をクリ 🧾 ローカル コンピューター ポリシー 🣔 Windows Update ▶ 👰 コンピューターの構成 ック 自動更新を構成する 設定 ■ ソフトウェアの設定 📰 [Windows シャットダウン] ダイアログ > 🧾 Windowsの設定 ポリシー設定の編集 📰 [Windows シャットダウン] ダイアログ ✔ 📋 管理用テンプレート 🗸 📔 Windows コンポーネント Windows Update の電源管理を有 必要条件: ④ 右ペインにある [自動更新を構成す 1. フケジュールされた時刻に受け自動的 Windows XP Professional Service ActiveX Installer Serv Pack 1、または Windows 2000 Service Pack 3 以降 🔯 自動更新を構成する App Privacy る] をダブルクリック 目 イントラネットの Microsoft 更新サ-> 🧾 BitLocker ドライブ暗号 📔 Delivery Optimizatio 1 アップグレードおよび更新を延期する 説明: > 📔 Endpoint Protection ■ 目動更新の検出頻度 ■ インターネット Fの Winde のコンピューターで Windows の自動 > 📔 Internet Explorer || 更新サービスを使用してセキュリティ更新 🕵 自動更新を構成する \times [無効]を選択して [OK] ボタンを (5) 🔚 自動更新を構成する クリック 前の設定(<u>P</u>) 次の設定(N) ○ 未構成(<u>C</u>) コメント: ○ 有効(E) ● 無効(D) サポートされるバージョン: Windows XP Professional Service Pack 1、または Windows 2000 Service Pack 3 以降 オプション: ヘルプ: このコンピューターで Windows の自動更新サービスを使用してセキュリテ イ更新プログラムやその他の重要なダウンロードを受け取るかどうかを指定 します。 自動更新の構成: 以下の設定が必要なのは (適用されるのは)、4 を選択し 注: このポリシーは、Windows RT には適用されません。 た場合だけです この設定では、このコンピューターで自動更新の機能を有効にするかどうか を指定できます。サービスを有効にした場合は、グループ ポリシー設定の 4 つのオプションのうち 1 つを選択する必要があります。 自動メンテナンス時にインストールする インストールを実行する日: 2 = 更新プログラムをダウンロードする前、およびインストールする前 に通知する インストールを実行する時間: このコンピューターに適用する更新プログラムが見つかると、ユーザー には、ダウンロードできる更新プログラムがあることが通知されます。 Windows Update にアクセスすると、使用可能なすべての更新プログラ ムをダウンロードしてインストールできます。 3 = (既定の設定)更新プログラムを自動的にダウンロードし、イン ストールの準備ができたら通知する ок キャンセル

注意! サポートする更新プログラムは、サポートサイトで随時ご案内します。案内のない更新プロ グラムはインストールしないでください。

4.3.4. Windows Update サービスの停止

自動更新されないように Windows Update のサービスを停止します。

- ① スタートボタンを右クリック > コンピューターの管理 をクリック
- ② サービスとアプリケーション >サービスをクリック
- 🚪 コンピューターの管理 ③ 右ペインにある Х ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) [Windows Update] 🗢 🔿 📶 🖾 🙆 🖾 🖾 🖬 🖬 🕨 をダブルクリック 🌆 コンピューターの管理 (ローカル) 操作 ○ サービス ✔ 🏦 システムツール 名前 説明 状: ^ サービス Windows Update 🕑 タスク スケジューラ 🖏 Windows License Manager ... Wind... 実 他の操作 > 100 イベントビューアー
 > 100 共有フォルダー ۲ 説明: 記明: Windows およびその他のプログラムに対す 夏新プログラムの検出、ダウンロード、およ びインストールを有効にします。このサービス が無効な場合、このコンピューターのユーザー は Windows Update またはその自動更新 機能を使用できなな対ます。また、プログラ レニンス Windows Update また、オログラ Windows Management Inst... オペレ... 実 Windows Update 🌆 ローカル ユーザーとグループ 🖏 Windows Media Player Net... ٦-... 実 他の操作 > 🔕 パフォーマンス 昌 デバイス マネージャー Windows Modules Installer Wind... Windows Presentation Fou... Opti... 🗸 🚰 記憶域 Windows Push Notification... このサ.. ディスクの管理
 サービスとアプリケーション 🖏 Windows Remote Manage... Wind.. ムによる Windows Update Agent (WUA) API も使用できなくなります。 Windows Search ファイ... 実 ○、サービス
 ☆ WMI コントロール Windows Store Service (WS... Wind... Windows モバイルホットスポッ... 携帯... WinHTTP Web Proxy Auto-... Win... 実 Wired AutoConfig Wire... WLAN AutoConfig WLA... WMI Performance Adapter Wind... < 拡張 (標準/
- ④ スタートアップの種類を [無効] にして [OK] ボタンをクリック

(ローカル コンピューター) W	/indows Update のプロパティ	×	
全般 ログオン 回	復 依存関係		
サービス名:	wuauserv		
表示名:	Windows Update		
説明:	Windows およびその他のプログラムに対する更新プログラムの へ 検出、ダウンロード、およびインストールを有効にします。このサー 、		
実行ファイルのパス: C:¥Windows¥syster	n32¥svchost.exe -k netsvcs		
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	無効		
サービスの状態:	停止		
開始(S) 停止(D) 一時停止(P) 再開(B)			
ここでサービスを開始するときに適用する開始パラメーターを指定してください。			
開始パラメ−タ−(<u>M</u>):			
	OK キャンセル 適用(A)		

注意! サポートする更新プログラムは、サポートサイトで随時ご案内します。案内のない更新プロ グラムはインストールしないでください。

4.3.5. セキュリティに関するメッセージの設定

試験中に警告バルーンが表示されないように設定します。

- コントロール パネル > システムと セキュリティ > セキュリティとメ ンテナンス をクリック
- 2 左側メニューにある [セキュリティと メンテナンスの設定を変更] をクリッ ク
- ③ [ユーザー アカウント制御] と
 [Windows トラブルシューティン グ]のみにチェックが入っている状態 にして、[OK] ボタンをクリック

<u>スでの問題の確認方法</u> セキュリティメッセージ	
✓ Windows Update	☑ スパイウェアと不要なソフトウェアの対策
□ インターネット セキュリティ設定	🗹 ユーザー アカウント制御
🔲 ネットワーク ファイアウォール	・ ウイルス対策
🗹 Microsoft アカウント	✓ Windows のライセンス認証
メンテナンス メッセージ	
🗌 Windows バックアップ	☑ Windows トラブルシューティング
□ 自動メンテナンス	✓ ホームグループ
□ ドライブの状態	□ ファイル履歴
🖂 デバイスのソフトウェア	□ 記憶域
🖂 スタートアップ アプリ	□ ワーク フォルダー

- 注意1
 お使いの環境によっては表示内容が画像と異なる場合があります。

 注意2
 設定が変更できない場合、現在 Windows にログインしているユーザーアカウントに Administrator 権限が付与されているかどうかをご確認ください。(4.3.2 参照)
- 4.3.6.コンピューター名とワークグループの設定

コンピューター名とワークグループを確認します。

 コントロール パネル > システムとセキュリティ > システム > システムの詳細設定 をクリ ック

② コン	ピュータ名タブを開き、「コンピューター	システムのプロバティ ×
名]、	[ワークグループ] を確認	コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート
注意!	コンピューター名とワークグループ名 には、2 バイト文字 や 数字のみの組み 合わせ、記号は使用しないでください。 必ず半角英数字の組み合わせで登録し てください。 正しくない場合には「変更」 ボタンから 内容を変更してください。	 次の情報は、このコンビューターをネットワーク上で識別するために使われます。 コンビューターの説明(D): 例: "キッチンのコンビューター"、"仕事用コンビューター" フル コンビューター名: PD35 ワークグルーブ: OCITEST2 ドメインまたはワークグルーブに参加するためのウィザードを使用す ネットワーク ID(N) コンビューター名を変更したりドメインに参加したりするには [友更] 変更(C)
		20H2 OK キャンセル 適用(A)

4.3.7. ドキュメント フォルダーの場所の設定

ドキュメント フォルダーが既定の場所にあるか確認します。

- ① エクスプローラー > PC >ドキュメント を右クリ ック > プロパティ を選択
- 「場所」のタブをクリック (2)
- 「C:¥Users¥〇〇〇¥Documents」の、〇〇〇の箇所 3 が現在ログインしているユーザーアカウントと同じ であることを確認
- ④ 違う場合は [標準に戻す] ボタンをクリック



4.3.8. 電源オプションの設定

試験中にシステムスタンバイが実行されないように設定します。

- ① コントロール パネル > システムとセキュリティ > 電源オプション をクリック
- ② 左側メニューの [電源プランの作成] をクリック
- 🍃 電源プランの作成 [高パフォーマンス]を選択して、プラン名 3 ← → 、 小 20 ペ ハードウェアとサウンド > 電源オプション > 電源プランの作成 ✓ ひ コントロール パネルの検索 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(D) ヘルプ(H) を入力したら、[次へ] ボタンをクリック 電源プランの作成 [存のプランで開始し、そのプランに名前を付けます。 ○ バランス (推奨) *このマニュアルでは [試験用] というプラン名にし 自動的にパフォーマンスと電力消费のパランスを取ります。(ハードウェアでサポートされている場合) ○省電力 電力の消費を抑えますが、パフォーマンスは低下します。 ています。 高パフォーマンス パフォーマンスを優先しますが、電力の消費が増える可能性があります。 試験用 次へ キャンセル ④ [ディスプレイの電源を切る]を[適用しな ◇ ↑ 🍃 > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > 電源オプション > プラン設定の編集 ✔ 8 コントロール パネルの検索 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H) い]、[コンピューターをスリープ状態にする] プラン設定の変更:試験用 スリーブ状態やその他のディスプレイ設定をお使いのコンピューターに適用するまでの時間を指定してください。
 - を [適用しない] にして、 [作成] ボタンをク リック
- ⑤ 作成したプランが設定されていることを確認

作成キャンセル

ディスプレイの電源を切る:

③ コンピューターをスリーブ状態にする: 適用しない

適用しない

4.3.9. 日付と時刻の設定

現在の日時が24時間表示で正しく設定されていることを確認します。

- コントロール パネル > [時計と地域] > [日 付と時刻の設定] をクリック
- ② 日時が正しく設定されていることを確認

日時が正しくない場合は、[日付と時刻の変更] ボタンをクリックして修正し、[OK]ボタンをク リック

💣 日付と時刻	Х
日付と時刻 追加の時計 インターネット時刻	
日付: 2017年1月30日 時刻: 19:27:55 タイムゾーン	Emmi
(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京	
タイム ゾーンの変更(乙)	
このタイムゾーンでは夏時間は実施されていません。	
OK キャンセル 適用(A)

- ③ コントロール パネル > [時計と地域] > [日付、
 時刻、数値形式の変更]をクリック
- ④ [地域]ダイアログボックスの [時刻(短い形式)]が「H:mm」、[時刻(長い形式)]が
 「H:mm:ss」に設定されていることを確認

形式が正しくない場合は、修正し、[OK] ボタン をクリック

注意! 日時が正しくない場合、Compass にログ インできません。

🔎 地域		Х
形式管理		
形式(<u>F</u>):日本語(日本)		
Windows の表示言語と一	致させます (推奨) く	
<u>並べ替え方法を変更する</u> <u>言語設定</u>		
日付と時刻の形式		
日付 (短い形式)(<u>S</u>):	yyyy/MM/dd 🗸 🗸	
日付 (長い形式)(<u>L</u>):	yyyy'年'M'月'd'日' ~	
時刻 (短い形式)(<u>H</u>):	H:mm ~	
時刻 (長い形式)(<u>O</u>):	H:mm:ss ~	
週の最初の曜日(<u>W</u>):	日曜日 ~	
例		
日付 (短い形式): 20	19/08/09	
日付 (長い形式): 20	19年8月9日	
時刻 (短い形式): 16	811	
時刻 (長い形式): 16	(11:01	
	追加の設定(<u>D</u>)	
	OK キャンセル 適用(A)

4.3.10. システム音量の設定

試験中に音がならないように設定します。

- ① タスクトレイのスピーカーアイコンをクリック
- ② [ミュートスピーカー] ボタンをクリック



4.3.11. 拡張子の表示

ファイルの拡張子が表示されるように設定します。

- コントロール パネル > デスクトップのカ スタマイズ > エクスプローラーのオプシ ョンをクリック
- [表示] タブ > [登録されている拡張子は 表示しない] のチェックをはずして、[OK] ボタンをクリック

エクスプローラーのオプション	×
全般 表示 検索	
フォルダーの表示	1
この表示方法 (詳細表示やアイコンなど) をこの種類のフォルダーすべてに 適用することができます。	
フォルダーに適用(L) フォルダーをリセット(R)	
詳細設定:	
 ● 入力した項目をビューで選択する ● ログオン時に以前のフォルダーウィンドウを表示する ● 暗号化や圧縮された NTFS ファイルをカラーで表示する ● 共有ウィザードを使用する(推奨) ● 空のドライブは表示しない ○ 縮小版にファイル アイコンを表示する ● 常にアイコンを表示し、縮小版は表示しない ● 常にアイコンを表示する ● 登録されている拡張子は表示しない ● ご供ごれての支援のであった。 ● 同期プロバイグ の通知を表示する ● 別のプロセスでフォルダーウィンドウを開く ● 保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない(推奨) 	
既定値に戻す(D)	
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

4.3.12. 通知とアクションの設定

試験中に通知が表示されないように設定します。

- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > システム > 通知とアクションをクリック
- ② 通知の下にある項目を [オフ] にする

【バージョン 20H2 の例】

ŵ ホ−ム	通知とアクション
設定の検索	クイック アクション
システム	クイック アクションの追加、削除、並べ替えをアクション センターで直接行うことがで きます。
🖵 ディスプレイ	クイック アクションの編集
40 サウンド	通知
□ 通知とアクション	アプリやその他の送信者からの通知を取得する
♪ 集中モード	不力
○ 電源とスリーブ	通知を取得するタイミングを制御するには、集中モードをご利用ください。 集中モード設定
□ 記憶域	□ 020画面に通知を表示する
	ロック面面にリマインターと VolP の看信を表示する。
46 9767	□ 通知時にサウンドを再生する
川 i マルチタスク	■ 新機能とおすすめを確認するために、更新の後と、サインイン時にときどき、 [Windows へようこそ] の情報を表示する
日 この PC へのプロジェクション	── Windows を最大限に活用するためのデバイス設定の売了方法を提案する
	── Windows を使う上でのヒントやお勧めの方法を取得する
🎗 共有エクスペリエンス	

4.3.13. ディスプレイの設定

画面全体の表示サイズを変更します。

- ユタートボタンを右クリック > 設定
 シシステム > ディスプレイをクリック

÷	ÐZ	
ŵ	<i>π−L</i> ,	ディスプレイ 20H2
股票	Eの検索 。 P	色
システ	А	夜間モード
		17
₽ :	ディスプレイ	夜間モードの設定
4 0)	サウンド	
_	Explanate as	Windows HD Color
4	通知とアクション	HDR に対応したビデオ、ゲーム、アプリで、より明るく、より鮮やかな画像をお楽しみ
2	集中モード	いただけます。
		Windows HD Color 設定
C)	電源とスリーブ	
-	印度波	拡大縮小とレイアウト
	au an the second s	テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する
-6	タブレット	100% (推奨)
	マルチタスク	125%
		150%
Ð	この PC へのプロジェクション	175%
×	共有エクスペリエンス	
		開催の言葉
ů ·	クリップボード	横 ~

注意! ノート型パソコンをご利用の場合、推奨設定が 125%になっている事がありますが、100% に設定してください。

4.3.14. プリンターの設定

試験結果レポートを印刷するためのプリンターの設定を確認します。

- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナーをクリック
- 印刷に使用するプリンターが表示されていることを確認



プリンタードライバーがインストールされていないと試験を開始できません。 注意! 試験ごとに結果レポートを印刷されない場合でも、プリンタードライバーは必ず1つ以上 インストールしてください。

5. Office アプリケーションの設定

5.1. Office アプリケーションのインストール時の注意点

- 試験環境では、1つの OS に複数のバージョンの Office 製品をインストールしないでください。 1ブート(10S)に対して、ひとつの Office のみインストールした環境がサポート対象です。 Office のバージョンごとに専用の試験環境を構築してください。
- デバイスマネージャーで各種ドライバーがインストールされているか確認してください。
- 必ずCドライブにインストールしてください。
- Office 製品のライセンスは、そのインストール形態に応じて必要数分の正規ライセンスを購入して ください。なお、本マニュアルに記載された内容に従って試験が実施されているかどうかを検査す るために、当社または当社の指定した第三者が通常の営業時間中に試験会場を検査することがあり ます。あらかじめご了承ください。

5.2. 使用可能な Office 製品

Windows 10の試験マシンで使用できる Office 製品は以下のとおりです。

● サポートする Office 製品

バージョン	Office 製品
Office 2019	・Microsoft Office Professional Plus 2019 64 ビット版(Version 1808 対応) ・Microsoft Office Professional 2019 64 ビット版(Version 1908 対応)
Office 2016	・Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版(16.0.4266.1001 対応) ・Microsoft Office Professional 2016 32 ビット版(16.0.7571.2109 対応)
Office 2013	・Microsoft Office Professional Plus 2013 32 ビット版(SP1 対応) ・Microsoft Office Professional 2013 32 ビット版(15.0.4569.1507 対応)

注意 1	仕様上は Offiice2019 32 ビット版も利用可能ですが、日本語版試験の動作検証は 64 ビッ ト版で実施します。試験会場での利用も 64 ビット版を推奨します。
注意 2	Office2019 は Build 番号の指定はありません。 バージョンが一致しているか確認してくだ さい。
注意 3	64 ビット版 Office2016・Office2013 はサポート対象外です。

5.3. Office 2019 の設定

5.3.1. Office 2019 のインストール

以下の URL を参照してインストールしてください。インストール後、試験マシンが自動更新されない ように設定します。

- Microsoft Office Professional 2019 のインストール方法
 https://www.microsoft.com/ja-jp/office/2016/downloadsetup/default.aspx
- Microsoft Office Professional Plus 2019 のインストール方法 https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/office2019/deploy

注意 1	インストール後は Microsoft アカウントにサインインせずにセットアップしてください。
注意2	Microsoft Office Professional Plus 2019 のインストールはライセンス形態により、Office 展開ツールを使用する必要があります。
注意 3	会場サポートサイト TOP> 試験システム> Office 2019 Professional Plus インストール時の Office 展開ツールについて に Office 展開ツールで使用する configuration.xml を用意しています。ご利用ください。
注意 4	Office 展開ツールを使用してのインストール方法やトラブル対応に関しては、ボリューム ライセンス 購入後サポート センターへお問い合わせください。 お問い合わせ先: 0120-737-565 9:00 - 17:30 (土日祝日、指定休業日を除く) https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/contact-us

5.3.1.1. Office 2019 のバージョン確認

試験システムでサポートする Office 2019 のバージョンはエディションによって異なります。 ご利用の エディションを確認いただきセットアップしてください。

Microsoft Office Professional 2019 ご利用の場合は「**16.0.*******.******* (Version 1908)**」 Microsoft Office Professional Plus 2019 ご利用の場合は「**16.0.*******.******* (Version 1808)**」 です。

 Excel を起動して空白のブックを開き、ファイル > アカウント からバージョン情報を確認する 指定のバージョンより新しいバージョンの場合 ⇒ ②に進んでください 指定のバージョンの場合 ⇒ ⑦から⑫のみ行ってください



参考! ②~⑤の作業は、以下リンクにバッチファイルを用意しています。ご利用ください。 会場サポートサイト TOP>試験システム>Office 2019 サポートバージョンに戻す手順

- ② スタートメニュー > Windows システムツール > コマンドプロンプトを右クリックし、コマンド プロンプト(管理者)を右クリック > その他 > 管理者として実行 をクリック
- ③ 「cd %programfiles%¥common files¥microsoft shared¥clicktorun」と入力して Enter キーを押す



④ 利用バージョンに応じて以下いずれかのコマンドを実行する

【Microsoft Office Professional 2019】ご利用の場合

「officec2rclient.exe /changesetting channel=deferred」と入力して Enter キーを押す 「officec2rclient.exe /update user displaylevel=true forceappshutdown=true updatepromptuser=false updatetoversion=16.0.11929.20776」と入力して Enter キー を押す

【Microsoft Office Professional Plus 2019】ご利用の場合

(Office インストール方法: Office 展開ツールを使用)

「officec2rclient.exe /changesetting channel=PerpetualVL2019」と入力して Enter キ ーを押す

「officec2rclient.exe /update user displaylevel=true forceappshutdown=true updatepromptuser=false updatetoversion=16.0.10357.20081」と入力して Enter キー を押す

【Microsoft Office Professional Plus 2019 オフラインインストーラー】ご利用の場合

(Office インストール方法: EXE/ISO ファイルや DVD を使用)

「officec2rclient.exe /changesetting channel=monthly」と入力して Enter キーを押す 「officec2rclient.exe /update user displaylevel=true forceappshutdown=true updatepromptuser=false updatetoversion=16.0.10730.20102」と入力して Enter キー を押す

⑤ 更新が始まる



⑥ 更新が終わったら、バージョンを再確認する。
 Excel を起動して空白のブックを開き、ファイル > アカウント からバージョン情報を確認

[Professional Plus Version 1808]



[Professional Version 1908]



⑦ [更新オプション]をクリック

<section-header><complex-block><complex-block> Builders Construction Construction</complex-block></complex-block></section-header>	
<section-header><section-header> Partial State Construction Construction</section-header></section-header>	製品情報 ① Office
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2019
<complex-block><complex-block><complex-block><complex-block></complex-block></complex-block></complex-block></complex-block>	所属先: odyssey.atc@outlook.com この製品には以下が含まれます。
<image/> <complex-block><complex-block><complex-block> Diffice gen null Briteria Basisteria State Basisteria State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State State</complex-block></complex-block></complex-block>	 【 2 0 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
<complex-block><section-header><complex-block><complex-block></complex-block></complex-block></section-header></complex-block>	Office 更新プログラム 更新プログラムは自動的にダウンロードされインストールされます。 オプション・
<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>	 Excel のパージョン情報 Excel の デージョン情報 ビージョン 1908 (ビルド 11929.20708 ケイック実行)
<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>	
 での製品の実所確認を表示します の製品ではのでいたのであります。 変形プログラムの実体(2) デはます びアログラムの実体(2) デはます が研究でのしたのでは、 がられます。 びアログラムの実体(2) デはます がられます。 びアログラムの実体(2) デはます がられまず びアログラムの実体(2) デはます がられまず のののにはのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	製品情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
製品情報 ジ Office ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2019 M属先: odyssey.atc@outlook.com この製品には以下が含まれます。	更新プログラムの表示(⊻) この製品の更新履歴を表示します 世新プログラムの詳細(Δ) 詳描を表示します
製品情報 していたい うイセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2019 所属先: odyssey.atc@outlook.com この製品には以下が含まれます。	
ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2019 所属先: odyssey.atc@outlook.com この製品には以下が含まれます。	製品情報 ① Office
	ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2019 所属先: odyssey.atc@outlook.com この製品には以下が含まれます。

🛯 🔽 😢 💁 🕲 🔋 🔕 ライセンスの変更



[更新を無効にする]を選択

8

⑨ 「この製品は更新されません」の表示を確認

5.3.2. データの保存先、ユーザー名の確認(2019 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか 確認します。(本マニュアルでは、「odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Office 2019 に登録したユーザー名も確認します。

【Access 2019】ファイル > オプション > 全般

[既定のデータベース フォルダー] に現在 Windows にログインしているユーザーアカウントが表示 され、[ユーザー名] に Office に登録したユーザー名が表示されていることを確認

Access のオプション		?	×
全般 現在のデータベース	Access の基本オプションを設定します。		
データシート	ユーザー インターフェイスのオプション		
オブジェクト デザイナー 文章校正	 ✓ リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L)○ ヒントのスタイル(R): ヒントに機能の説明を表示する 		
18 18	ビ ボタン名と一緒にショートガット キーを表示する(圧) □ リードウェア ガミコ ハッカ アカヤミレーカを無効にする(C)		
クライアントの設定	□ ((-1)1/9)/19/79 /200792mm/lice30(G)		
リボンのユーザー設定	データベースの作成		
クイック アクセス ツール バー	空のデータベースの既定のファイル形式(F): Access 2007 - 2016 🔻	_	
アドイン	既定のデータベース フォルダー(D): C:¥Users¥odyssey¥Documents	参照	
トラスト センター	新規データベースの並び順序(<u>S</u>): 日本語 - レガシー ▼		
	Microsoft Office のユーザー設定		
	ユーザー名(<u>U</u>): odyssey 減文字(<u>1</u>): o □ Office へのサインイン状態にかかわらず、端にごれらの設定を使用する(<u>A</u>) Office テーマ(<u>I</u>): <u>カラブル ▼</u>		
	0	K +1	っとれ

【Word 2019】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【Excel 2019】ファイル >オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 2019】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

※設定が終了したら、「6. その他の設定」にお進みください。

5.4. Office 2016 の設定

5.4.1. Office 2016 インストール形式の確認

同じ Office 製品でもライセンスの形態によりインストール手順やサポートするバージョンが異なります。インストール形式を確認して、各設定を行ってください。

【Windows インストーラー(MSI)形式】 インストール時にユーザー設定より、インスト ールするプログラムを個別に指定する事がで きる形式です。

Office 2016 のインストール画面にて、[インス トールの種類を選択してください]が表示され た場合、「5.4.1.1. Office 2016 Windows イ ンストーラー (MSI) 形式のインストール」を 参照しセットアップしてください。

1 Microsoft Office Professional Plus 2016	×
インストールの種類を選択してください	0
Microsoft Office Professional Plus 2016 のインストールの種類を選択して ください。	
今すぐインストール(<u>I</u>)	
ユーザー設定(<u>U</u>)	

【クイック実行(Click to Run)形式】

インストール時に全てのプログラムが自動的 に最新の状態でフルインストールされる形式 です。

Office 2016 のセットアップファイルを実行 後、自動的にインストールが開始された場合 は、「5.4.1.3. Office 2016 クイック実行 (Click to Run)形式のインストール」を参照 しセットアップしてください。



既にインストール済で、インストール形式が不明の場合は、以下の表を参考にインストール形式を判断 してください。

●インストール形式別 Office 2016 製品

インストール形式	Office 製品名
Windows インストーラー(MSI)	Microsoft Office Professional Plus 2016
クイック実行(Click to Run)	 Microsoft Office Professional Plus 2016 ja-jp Microsoft Office Professional 2016

Х

?

?

ドライブに必要な総容量: 3.57 GB

今すぐインストール(<u>I</u>)

ドライブの空き容量: 71.01 GB

1 Microsoft Office Professional Plus 2016

ください

Microsoft Office Professional Plus 2016

Microsoft Office
 Microsoft Access
 Microsoft Excel
 Microsoft OneDrive for Business
 Microsoft OneNote

- -

インストール オプション(N) ファイルの場所(F) ユーザー情報(S)

Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください

Microsoft Outlook Microsoft PowerPoint

Microsoft Publisher

Microsoft Visio Vie Microsoft Word Office ツール

Office 共有機能 Skype for Busin

インストールの種類を選択してください

Microsoft Office Professional Plus 2016 のインストールの種類を選択して

今すぐインストール(<u>I</u>)

ユーザー設定(U)

- 5.4.1.1. Office 2016 Windows インストーラー (MSI) 形式のインストール
- ① Office 2016 のセットアッププログラムを起動
- [ユーザーアカウントの制御]が表示されたら [はい]をクリック
- ③ ライセンス条項の確認の画面が表示されたら、同意 して[続行]をクリック
- ④ インストールの種類は [ユーザー設定] を選択
- ⑤ 一番上の「Microsoft Office」をクリックして、左側のドロップダウンリストから[マイコンピュータからすべて実行]を選択



[ファイルの場所]は C ドライブの既定のま 注意! ま進めてください。インストール先は変更しな いでください。

⑥ インストールアイテムが白く変わる

(シストールオガシュ/12) ファイルの場所(E) ユーザー情報(S) Microsoft Office TUダウムの実行方法を設定して代さい ■ ● ● ● I crosoft Access ■ ● ● ● I crosoft Access ■ ● ● ■ I crosoft Access ■ ● ● ■ I crosoft OneDrive for Business ■ ○ ● ■ ■ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	0

Compass セットアップマニュアル Windows 10 用



Office をより便利に

オンライン登録(<u>O</u>)

オンラインでドキュメントを保存して共有
 製品の更新プログラム、ヘルプ、トレーニングを無償で利用

- Office アプリケーションを起動する *例として Word2016 を起動します。
- ① 「Office ライセンス認証」が起動した場合には、 ライセンス認証手続きを完了する
 *ボリューム ライセンス版では必要ありません。

	×
Office ライセンス認証	
Office をライセンス認証するには、Office サブスクリプションに関 連付けられている電子メール アドレスを入力してください。	
次へ	
プロダクト キーを代わりに入力する サインインすると、お使いのドキュメントと設定がオンラインになります 詳細を表示 ブライバシーに関する声明	

閉じる(<u>C</u>)

 ① 「最初に行う設定です。」画面が表示されたら、〔後 で確認する〕を選択して〔同意する〕ボタンをクリ ック

最初に行う設定です。	
 更新プログラムのみをインストールする(<u>I</u>) Office、Windows などの Microsoft ソフトウェアの重要な更新プログラムと推奨 れる更新プログラムをインストールします。 	±
 後で確認する(L) 確認が終わるまでの間、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があます。)
この製品には Office 自動更新機能が付いています。 詳細を表示	
[同意する] をかりかすると、Microsoft Office の使用許諾契約 書を承諾したことにおります。 使用許諾契約書を読む	(<u>A</u>)

- ③ 文書を開く(*例として[白紙の文書]を開きます。)
- ④ ファイル > アカウントの画面で「ライセンス認証 された製品」と表示されていることを確認

「ライセンス認証が必要です」と表示されている場合は、[プロダクト キーの変更]をクリックして、 プロダクトキーを入力し、認証作業を行ってください。

Ð	文書 1 -)	Vord ? - C ×
 ● ●<th>又第1-1 アカウント Dffice テーマ 1573 つ Office にサインイン Office にサインイン のにとサインタブロに こうからすたものからた さらからすたものでは、ののからま ことができま。 サイントン</th><th>Verd 2 - C × 4000 製品情報 ① Office ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional Plus 2016 ブログログロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロ</th>	又第1-1 アカウント Dffice テーマ 1573 つ Office にサインイン Office にサインイン のにとサインタブロに こうからすたものからた さらからすたものでは、ののからま ことができま。 サイントン	Verd 2 - C × 4000 製品情報 ① Office ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional Plus 2016 ブログログロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロクロ

5.4.1.2. Office 2016 更新プログラムの適用(バージョン 16.0.4266.1001 のみ)

以下の URL を参照して、Office の更新プログラムを適用してください。

- KB4011681: Word 用 ダウンロードページ https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=56553
- KB4011684: Excel 用 ダウンロードページ https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=56529

バージョン 16.0.4266.1001 以外はインストール不要です。 適用が不要な場合は、インストールしようとすると以下のメッセージが表示されます。

Microsoft Word 2016 (KB4011681) 32 ビット版 の更新プログラム	×
このパッケージをシステムにインストールすることによって影響を受ける製品はありません。	
ОК	

※続いて、5.4.2 に進んでください。

5.4.1.3. Office 2016 クイック実行 (Click to Run) 形式のインストール

以下の URL を参照して、インストールしてください。

 パッケージ製品・ダウンロード製品 インストール方法 https://www.microsoft.com/ja-jp/office/2016/downloadsetup/default.aspx

5.4.1.4. Office 2016 のバージョン確認

試験システムでサポートするクイック実行(Click to Run)形式の Office 2016 のバージョンは

「16.0.7571.2109」です。

- コントロールパネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] から、インストール済 みのプログラムの一覧を表示
- ② 「Microsoft Office Professional 2016 ja-jp」または「Microsoft Office Professional Plus 2016 ja-jp」を選択し、製品バージョンを確認

「16.0.7571.2159」より前のバージョンの場合 ⇒ ③に進んでください
 「16.0.7571.2159」より新しいバージョンの場合 ⇒ ⑧に進んでください
 「16.0.7571.2109」の場合 ⇒ ⑨から⑪のみ行ってください

- ③ Excel を起動して空白のブックを開く
- ④ ファイル > アカウント [更新オプション] をクリック
- ⑤ [今すぐ更新]を選択



⑥ 更新が開始する(途中 Excel を終了してください、など表示されたら指示に従い、更新を完了させます。)

Office	-
Office の更新プログラムをダウンロードしています	
バックグラウンドでダウンロードしながら、Office を使い続けることができま す。	

注意1 インストール時には、必ず32 ビット版 Office であることを確認してください。 64 ビット版の Office はサポート対象外です。
 注意2 インストール後は Microsoft アカウントにサインインせずにセットアップしてください。

- ⑦ Excel を起動して空白のブックを開く
- ⑧ ファイル > アカウント を開き、バージョン情報を確認 製品情報 Office *バージョンはインストールの日付により右の画像と異なる場合 があります。 ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2016 この製品には以下が含まれます。 AB XI NI 02 PB PD WI Office 更新プログラム 更新プログラムは自動的にダウンロードされインストールされます。 更新 バージョン 1612 (ビルド 7668.2066) オプション・ Excel のバージョン情報 0 Excel、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。 Excel の バージョン情報 [更新オプション] をクリック (9) 製品情報 Office (10) [更新を無効にする]を選択 ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2016 この製品には以下が含まれます。 🕼 🚺 🚺 💁 🗗 🚺 Office 更新プログラム LB. 更新プログラムは自動的にダウンロードされインストールされます。 バージョン 1612 (ビルド 7668.2066) オプション・ -ジョン情報 確認して適用します ロダクト ID、著作権に関する詳細情報。 更新を無効にする(<u>D</u>) ات ال Ó セキュリティ、パフォーマン ス、信頼性を更新しません 更新プログラムの表示(⊻) この製品の更新履歴を表示します 「この製品は更新されません」の表示を確認 (11) 製品情報 Office ライセンス認証された製品 Microsoft Office Professional 2016 この製品には以下が含まれます。 AB XI NI 03 PI PI WI Office 更新プログラム L この製品は更新されません。 更新 オプション、 バージョン 1612 (ビルド 7668.2066) ※続いてバージョンを戻す作業を行います。 Excel のバージョン情報 0 Excel、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。 バージョンが 16.0.7571.2109 の場合、 ゆから ゆの作業は不 Excel *Φ* バージョン情報 要です。
- 20から10のバージョン 参考! Office 2016 サポート ください。

 ゆから⑮のバージョンを戻す手順については、会場サポートサイト TOP>試験システム>
 Office 2016 サポートバージョンに戻す手順 にバッチファイルを用意しています。ご利用

Office の更新プログラムをダウンロードしています... バックグラウンドでダウンロードしながら、Office を使い続けることができま

- ② スタートメニュー > Windows システムツール > コマンドプロンプトを右クリックし、コマンド プロンプト(管理者)を右クリック > その他 > 管理者として実行 をクリック
- ③ 「cd %ProgramFiles%¥Common Files¥Microsoft Shared¥ClickToRun」と入力して Enter キーを押す
- ④ 「officec2rclient.exe /update user updatetoversion=16.0.7571.2109」と入力して
 Enter キーを押す

Office

す。

セーフモードで起動しますか?

製品情報

Microsoft Excel

- ⑤ 更新が始まる
- 19 更新が終わったら、Excel 2016 を起動
- ① 「セーフモードで起動しますか」のメッセージ が表示されたら、[はい]をクリック
 ※メッセージが出ずに、通常起動した場合は、
 Word、PowerPointの起動確認をお願いします。
- ⑧ 「最初に行う設定です。」のメッセージが表示されたら、[同意する]をクリック



Excel は前回起動に失敗しました。セーフモードを使用すると問題の解決に役立ち ますが、一部の機能が使用できないことがあります。

 19 ファイル > アカウント を開き バージョン 1611 (ビルド 7571.2109) になっている ことを確認



20 Excel を終了し、続いて Word、PowerPoint も⑯~⑲の手順を行う

5.4.2. データの保存先、ユーザー名の確認(2016 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか 確認します。(本マニュアルでは、「odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Office 2016 に登録したユーザー名も確認します。

【Access 2016】ファイル > オプション > 基本設定

[既定のデータベース フォルダー] に現在ログインしているユーザーアカウントが表示され、[ユーザ 一名] に Office に登録したユーザー名が表示されていることを確認

Access のオプション		?	×
基本設定 現在のデータベース	Accessの基本オプションを設定します。		
データシート	ユーザー インターフェイスのオプション		
オブジェクト デザイナー	✓ リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L)○		
文章校正	ヒントのスタイル(<u>R</u>): ヒントに機能の説明を表示する V		
010 010	☑ ボタン名と一緒にショートカット キーを表示する(旦)		
クライアントの設定	 ハードウェア グラフィック アクセラレータを無効にする(G) 		
リボンのユーザー設定	データベースの作成		
クイック アクセス ツール バー	空のデータベースの既定のファイル形式(E): Access 2007 - 2016 🗸		
アドイン	既定のデータベース フォルダー(<u>D</u>): C:¥Users¥Odyssey¥Documents¥	参照	
セキュリティ センター	新規データベースの並び順序(S): 日本語 - レガシー 🗸		_
	Microsoft Office のユーザー設定		
	ユーザー名(U): Odyssey 頭文字(I): Oct □ Office へのサインイン状態にかかわらず、常にこれらの設定を使用する(<u>A</u>) Office テーマ(I): カラフル ✓		
	ОК	+ 72	セル

【Word 2016】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【Excel 2016】ファイル >オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 2016】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

5.4.3. Outlook 2016 の設定(2016 共通)

Outlook 2016 を起動して、以下の設定を行ってください。

- 注意1
 Outlook 2016 の試験を実施する試験マシンでは、Outlook や他のメールソフトを使用して、実際に電子メールの送受信をしないでください。試験専用環境を構築してください。

 注意2
 既にOutlook 2016 にメールアカウントの登録がされている場合は、メールデータをバックアップ後にアカウントを削除してください。
- ① Outlook 2016 を起動

2

「Outlook 2016 へようこそ」画面が起動したら、 [次へ] ボタンをクリック

[Microsoft Outlook アカウントの設定] ダイア

ログボックスが表示されたら、[いいえ]を選択し

て、[次へ] ボタンをクリック



③ [電子メール アカウントの設定のキャンセル] ダイアログボックスが表示されたら、[電子メー ルアカウントを設定しないで Outlook を使う] にチェックを入れて[完了] ボタンをクリック

電子X·	ール アカウントを追加しない
Ţ	電子メール・アカウントを設定しなくても Outlook をご判測しただけますが、電子メール メッセージの送受信はできません。信にち、電子メール 7 カウントを放定しないと完全に動作しない機能が扱わます。 後から電子メール アカウントを追加できますが、ここで少なくとも 1 つのアカウントを追加することをお勧めします。
C	☑ 電子メール アカウントを設定しないで Outlook を使う(U)
	< 辰秋(8) 元了

④ Outlook 2016 を終了する

Outlook を起動したときに「新しいアカウントが検出されました。インポートしますか?」注意!のメッセージが表示された場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。その後、
Windows メールに登録されているメールアカウントを削除してください。

※設定が終了したら、「7. その他の設定」にお進みください。
5.5. Office 2013 の設定

5.5.1. Office 2013 インストール形式の確認

同じ Office 製品でもライセンスの形態によりインストール手順やサポートするバージョンが異なります。インストール形式を確認して、各設定を行ってください。

【Windows インストーラー (MSI) 形式】 インストール時にユーザー設定より、インストー ルするプログラムを個別に指定する事ができる 形式です。 Office 2013 のインストール画面にて、[インス トールの種類を選択してください]が表示された 場合、「5.5.1.1. Office 2013 Windows イン ストーラー (MSI) 形式のインストール」を参照 しセットアップしてください。

0	Microsoft Office Professional Plus 2013	×
	インストールの種類を選択してください	0
	Microsoft Office Professional Plus 2013 のインストールの種類を選択して ください。	
	今すぐインストール(<u>I</u>)	
	ユーザー設定(U)	

【クイック実行(Click to Run)形式】

インストール時に全てのプログラムが自動的に 最新の状態でフルインストールされる形式です。 Office 2013のセットアップファイルを実行後、 自動的にインストールが開始された場合は、 「5.5.1.3.Office 2013 Office クイック実行 (Click to Run)形式のインストール」を参照し セットアップしてください。



既にインストール済で、インストール形式が不明の場合は、以下の表を参考にインストール形式を判断 してください。

● (参考) インストール形式別 Office 2013 製品

形式	Office 製品名
Windows インストーラー(MSI)	Microsoft Office Professional Plus 2013
クイック実行(Click to Run)	 Microsoft Office Professional Plus 2013 ja-jp Microsoft Office Professional 2013

Microsoft Office Professional Plus 2013 のインストールの種類を選択して ください。

今すぐインストール(I)

ユーザー設定(U)

インストールの種類を選択してください

インストール オプション(N) ファイルの場所(E) ユーザー情報(5)

Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください

?

0

- 5.5.1.1. Office 2013 Windows インストーラー (MSI) 形式のインストール
- ① Office 2013 のセットアッププログラムを起動
- [ユーザーアカウントの制御] が表示されたら [はい] を クリック
- ③ ライセンス条項の確認の画面が表示されたら、同意して [続行]をクリック
- ④ インストールの種類は [ユーザー設定] を選択
- ⑤ 一番上の「Microsoft Office」をクリックして、左側のドロップダウンリストから[マイコンピュータからすべて実行]を選択



⑥ インストールアイテムが白く変わる

[ファイルの場所]は C ドライブの既定のま 注意! ま進めてください。インストール先は変更しな いでください。

インストール オプション(N) ファイルの場所(E) ユーザー情報(S)	
Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください	0
□ 🚍 🔻 Micr soft Office	^
Image:	
🖲 📼 🔻 Norosoft Excel	
🗉 🚍 🔻 N crosoft InfoPath	
👝 🔻 N crosoft Lync	
🗉 👝 🔻 N crosoft OneNote	
🖲 📼 🔻 N crosoft Outlook	
🖲 📼 🔻 N crosoft PowerPoint	
🗉 👝 🔻 Norosoft Publisher	
N crosoft SkyDrive Pro N	
Norosoft Visio Viewer	

⑦ [ユーザー情報] タブを選択し、ユーザー情報を入力し て、[今すぐインストール] をクリック

注意!

氏名と頭文字は必ず入力してください。 スペース(半角、全角とも)のみを入力して、 見た目が空欄の状態にするとトラブルが発生 するので、必ず文字を入力してください。

Microsoft Office Professional Plus 2013	
インストール オプション(<u>M</u>) ファイルの場所(E) ユーザー情報(S)	
ユーザー情報を入力してください	
ユーザー名、頭文字、所属を入力してください。	
この情報は、共有 Office ドキュメントに変更を加えるユーザーを識別するために Microsoft Office プログラムで使用されます。	
氏名(E):	
頭文字(工):	
所属(<u>Q</u>):	
\$₹<1>ストール{[

⑧ インストールが開始される ? Office ⑨ インストールが完了したら [閉じる] ボタンをクリック Microsoft Office Professional Plus 2013 をインストールしていただき、ありがとうご ざいます。開始するには、「スタート」メニューを開き、Office プログラムを選択してくださ い。 Office をより便利に オンラインでドキュメントを保存して共有
製品の更新プログラム、ヘルプ、トレーニングを無償で利用 ① Office アプリケーションを起動する 閉じる(<u>C</u>) *例として Word2013 を起動します。 「Office ライセンス認証」が起動した場合には、 (11) Office ライセンス認証 ライセンス認証手続きを完了する *ボリューム ライセンス版では必要ありません。 Office をライセンス認証するには、Office サブスクリプションに関 連付けられている電子メール アドレスを入力してください。 次へ プロダクト キーを代わりに入力する サインインずると、お使いのドキュメントと設定がオンラインになります 詳細を表示 | プライバシーに関する声明 「最初に行う設定です。」画面が表示されたら、[後で確認 (12) × する] を選択して [同意する] ボタンをクリック 最初に行う設定です。 ○ 推奨設定を使用する(U) Office、Windows などの Microsoft ソフトウェアに対して、重要な更新プログラム や推奨される更新プログラムをインストールして、Office を改善します。 更新プログラムはインストールしないでくだ ○ 更新プログラムのみをインストールする(I) さい。必ず [後で確認する] を選択してくださ 注意! Office、Windows などの Microsoft ソフトウェアの重要な更新プログラムと推奨される更新プログラムをインストールします。 い。 後で確認する(L) 確認が終わるまでの間、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があり ます。 Microsoft に送られた情報は品質向上の目的のみで使用されます。送られた情報を使用してお客様の身元を特定したり、こちらから連絡することはありません。 Microsoft はお客様の個人情報を細心の注意をもってお取り扱いしております。 詳細を表示 同意する(<u>A</u>) (13) [Office] のガイド画面が表示されたら [x] をクリック してウィンドウを閉じる





5.5.1.2. Office Professional Plus 2013 Service Pack 1 のインストール

① マイクロソフト社のサイトより、KB2817430の更新プログラムをダウンロードしてインストール

http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=42017 (ダウンロードファイルのファイル名:proplussp2013-kb2817430-fullfile-x86-ja-jp.exe)

注意 1	サポート外の更新ファイルもインストールされてしまうため、「Windows ストア」 「Microsoft Update」「Windows Update」は使用しないでください。
注意 2	詳細は、会場サポートサイト TOP>試験システム> 【重要】サービスパックと更新プログラム を参照してください。

- ② インストール後、コントロールパネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール]から、 インストール済みのプログラムの一覧を表示
- ③ 「Microsoft Office Professional Plus 2013」の製品バージョンが「15.0.4569.1506」と表示さ れていることを確認

プログラムのアンインストールまたは変更					
プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して[アンインストール]、[変更]、または[修復]をクリックします。					
登埋 ▼ アンインストール 変更				8= • (
名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン	
Adobe Reddel XI (11.0.09) - Japanese	Adobe Systems incorporated	2014/09/22	200 MB	11.0.09	
Microsoft Office Professional Plus 2013	Microsoft Corporation	2014/09/01		15.0.4569.15	
OKI Network Extension	Okidata	2014/09/01		1.00.000	
ייאטערע איז איזער איזער איז איזער איז איזער ≊	anter corporation	2014/00/09	74.2 110	9.17.10.334	
Microsoft Corporation 製品バー	232: 15.0.4569.1506				

※続いて、5.5.2 に進んでください。

5.5.1.3. Office 2013 Office クイック実行(Click to Run)形式のインストール

以下の URL を参照して、インストールしてください。インストール後、試験マシンが自動更新されない ように設定します。

 パッケージ製品・ダウンロード製品 インストール方法 https://www.microsoft.com/ja-jp/office/2013/downloadsetup/default.aspx

注意! インストール時には、必ず 32 ビット版 Office であることを確認してください。 64 ビット版の Office はサポート対象外です。

- (1) 文書を開く *例として[白紙の文書]を開きます。
- ファイル > アカウント > [更新オプション] をクリック
- ③ [更新を無効にする]を選択



文書 1 - Word

5.5.1.4. Office 2013 のバージョン確認

試験システムでサポートするクイック実行(Click to Run)形式の Office 2013 のバージョンは 「**15.0.4569.1507**」です。2016年11月現在、バージョンは「**15.0.4569.1507**」以降のバージョ ンがインストールされるため、バージョンを戻す必要があります。

- ① 会場サポートサイト にログイン
- ② メニュー > 試験システム > Office 2013 バージョン確認のお願い(SP1対応開始) を参照して、「15.0.4569.1507」に戻す
- ③ コントロールパネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] から、インストール済 みのプログラムの一覧を表示
- ④ 「Microsoft Office Professional 2013 ja-jp」または「Microsoft Office Professional Plus 2013 - ja-jp」の製品 バージョンが「15.0.4569.1507」と表示 されていることを確認

※続いて、5.5.2 に進んでください。

プログラムのアンインストールするには、一覧から す。	5プログラムを選択して [アンイ]	ンストール]、[変	:更]、または [修)	幻 をクリックしま
整理 ▼ アンインストール 変更				
名前	発行元	インストー	サイズ	バージョン
🖊 Adobe Flash Player 13 ActiveX	Adobe Systems Incorpor	2014/04/28	6.00 MB	13.0.0.182
📙 Adobe Reader X (10.1.9) - Japanese	Adobe Systems Incorpor	2014/04/28	137 MB	10.1.9
ATT. Orbely of Testell Menager	ATT Technologics, Inc.	2011/07/04	22.4.40	2.0.020.0
Microsoft Office Professional 2013 - ja-jp	Microsoft Corporation	2014/02/28		15.0.4569.1507
Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributa ■OKI Network Extension QRealtek HDMI Audio Driver for ATI ■VIA プラットフォーム・デバイス・マネージャ	Microsoft Corporation Okidata Realtek Semiconductor C VIA Technologies, Inc.	2011/07/04 2014/08/01 2011/07/04 2011/07/04	13.6 MB 2.61 MB	10.0.30319 1.00.000 6.0.1.6251 1.34
Microsoft Corporation 製品パージョン	: 15.0.4569.1507			

5.5.2. プライバシーオプションの設定(2013 共通)

Office アプリケーションに共通した設定として、「プライバシーオプションの設定」を行います。

- Word 2013 を起動
- ② ファイル > オプション > セキュリティ センター > [セキュリティ センターの設定] ボタン をクリック

	Word のオプション	? ×
基本設定 表示	● ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。	
文章校正	プライバシーの保護	
保存 文字体裁 言語 詳細設定 リポンのユーザー設定 クイック アクセス ツール パー アドイン セネコリティ センター	Microsoft ではプライバシーの保護に配慮しています。Microsoft Word におけるプライバシーの保護については、プライバシーに関する声明をき さい。 Microsoft Word のプライバシーに関する声明を表示する Office.com のプライバシーに関する声明 なみマーエクスイバエンス向上プログラム Microsoft Office フィードバック (気に入った機能の報告) のプライバシーに関する声明 セキュリティと評価情報 Office.com にアクセスして、プライバシー保護とセキュリティに関する詳細をご確認ください。 伊藤市をホンパムーモイング	が照してくだ
	Initia Conzulation 2017	
	Microsoft Word セネコリティセンター セキュリティセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護す ることができます。この設定は変更しないことをお勧めします。	定(I)
	OK	キャンセル

③ プライバシー オプション > 「カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加する」の チェックを外す



④ [OK] ボタンをクリックしてオプションを閉じる

5.5.3. データの保存先、ユーザー名の確認(2013 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか 確認します。(本マニュアルでは、「odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Office 2013 に登録したユーザー名も確認します。

【Access 2013】ファイル > オプション > 基本設定

[既定のデータベース フォルダー]、[ユーザー名] に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

	Access のオプション	? ×
基本設定 現在のデータベース	Access の基本オプションを設定します。	
データシート	ユーザー インターフェイスのオプション	
オブジェクト デザイナー 文章校正 言語 クライアントの設定	 ✓ リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L)○ ヒントのスタイル(B): ヒントに機能の説明を表示する ✓ ✓ ボタン名と一緒にショートカット キーを表示する(出) □ ハードウェア グラフィック アクセラレーダを無効にする(C) 	
リボンのユーザー設定	データベースの作成	
クイック アクセス ツール バー	空のデータベースの既定のファイル形式(E): Access 2007 - 2013 🗸	
アドイン	既定のデータベース フォルダー(D): C:¥Users¥odyssey¥Documents¥	参照
U+1074 U/9-	新規データペースの並び順厚(<u>S</u>): 日本語 - レガシー ▼ Microsoft Office のユーザー設定 ユーザー名(<u>U</u>): Odyssey 頭文字(<u>1</u>): O ① Office へのサインイン状態にかかわらず、常にこれらの設定を使用する(<u>A</u>) Office テーマ(<u>I</u>): 白 ▼	
	OK	キャンセル

【Word 2013】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【Excel 2013】ファイル >オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 2013】ファイル > オプション > 保存

[自動用回復ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所]に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

5.5.4. Outlook 2013 の設定(2013 共通)

Outlook 2013 を起動して、以下の設定を行ってください。設定は初回のみで試験毎に繰り返し設定する必要はありません。

注意1	Outlook 2013 の試験を実施する試験マシンでは、Outlook や他のメールソフトを使用して、実際に電子メールの送受信をしないでください。試験専用環境を構築してください。
注意 2	既に Outlook 2013 にメールアカウントの登録がされている場合は、メールデータをバック アップ後にアカウントを削除してください。

電子メール アカウントの追加

- ① Outlook 2013 を起動
- Outlook 2013 へようこそ」画面が起動したら、[次へ] ボタンをクリック
- ③ [Microsoft Outlook アカウントの設定] ダ イアログボックスが表示されたら、[いいえ] を選択して、[次へ] ボタンをクリック
- ④ [電子メール アカウントの設定のキャンセル]ダイアログボックスが表示されたら、[電子メールアカウントを設定しないで Outlookを使う]にチェックを入れて[完了]ボタンをクリック

Outlook を使って、所属している相機の Microsoft Exchange Server や、Microsoft Office 365 に含まれる Exchange Online のアカウントな どの電子メール アカウントに接続します。POP、IMAP、Exchange ActiveSync のアカウントにも接続できます。

⑤ Outlook 2013 を終了する

Outlook を起動したときに「新しいアカウントが検出されました。インポートしますか?」 注意! のメッセージが表示された場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。その後、 Windows メールに登録されているメールアカウントを削除してください。

< 戻る(B) 完了

6. Photoshop、Illustratorの設定(ACA CC 2020のみ)

ACA CC 2020 を実施する場合、以下のアプリケーションのインストールが必要です。 必ず C ドライブにインストールしてください。

試験科目	アプリケーション	バージョン
Visual Design using Adobe Photoshop CC 2020 (v21.x)	Adobe Photoshop 2020	21.x
Graphic Design & Illustrator using Adobe Illustrator CC 2020 (v24.x)	Adobe Illustrator 2020	24.x

6.1. アプリケーションのインストール

Creative Cloud Desktop からサポートバージョンのアプリケーションをインストールします。



④ インストールが完了したら、アプリケーションが正常に起動することを確認

インストール

インストール

Photoshop (22.0)

Photoshop (21.2.4)

6.2. 環境設定

1	右上のアカウント>環境設定を	クリック		- 0 X
				f 🗍 🛋 🦲
				花子 丸の内 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
			1	環境設定
				アドビアカウント
				ヘルプセンター
				お問い合わせ
				ログアウト
			-	
2	[一般]タブの[ログイン時に Creative Cloud を起動]をオフ	一般	花子 丸の内 xxxxxxxxxxxxxxxx.jp	
	にする	アプリ	アドビアカウント 🖻	
		同期		
		通知	クラウド ストレージ	096
		+	6.6 MB/100 GB 使用済み	アップグレード
		V LA		
			設定 ログイン時に Creative Cla	wd をお 動
			Creative Clearly Clearl	
				-
				完了
3	[アプリ]タブの[自動更新]を		白孔面松	·
	イノにする	一般	日朝史初 Creative Cloud Desktopを使用し	て、自動的にすべてのアプリケーション
		アブリ	を最新の状態に保ちます。詳細	
		同期	〇 目動更新	
		通知		
		Amoto	インストール	
		サービス	インストール先	デフォルトの場所… 🥒
			初期設定のインストール言語	日本語
			設定	

④ [完了] ボタンをクリック

7. その他の設定

7.1. 不要なソフトウェア・ツールの削除、COM アドイン解除

以下のソフトウェア等がインストールされていると、試験時のトラブルの原因となります。 該当するソフトウェアは事前に削除してください。

削除が難しい場合は、試験前に必ず該当ソフトウェアの機能停止または解除を行ってください。

- 模擬試験ソフトウェア
- 講座用ツール
- ・ ウイルス対策ソフト(試用版含む)
- Adobe Acrobat Reader 以外の PDF ソフト
- マシン起動時に各種設定を初期化するツールやソフトウェア

また、Office に追加されるアドインも試験トラブルの原因となります。 以下の手順で追加アドインの有無を確認し、事前にアドインを解除してください。

※Adobe Acrobat Pro DC のアドイン によって[Acrobat]タブが追加された Word の例

										文書 1 - We	ord
ファイル	木	-L	挿入	デザイン	レイアウト	参考資料	差し込み文書	校問	表示	Acrobat	♀ 実行
	*	游明朝	(本文(・	10.5 • A	A Aa -	🖗 🖁 🔺	i≡ + i≡ + i=	€≣ →	۲.	A↓ ↔	あア亜
貼り付け	*	B I	<u>U</u> - a	eb∈ X₂ X²	🔉 - 🏰 -	A • A 🗇		≌ ‡≡ -	-	•	□標準
カレップボー	- 5 5			フォント		5		段波		5	

- ① Office アプリケーションを起動し、新規、または既存のファイルを開く
- ② [ファイル]>[オプション]を選択
- ③ オプション一覧の[アドイン]を選択
- ④ [管理]ドロップダウンメニューから[COM アドイン]を選択し、[設定]をクリック

5	「COM アドイン」 ダイアログボ チェックが入っている項目があれ ェックを外し、「OK」をクリック	ックス内で いば、全てチ フ	COM アドイン 使用できるアドイン(D):	Office: COM Addin 規制ボアドイン neNote ノート 刷ウィザード ウィザード Program Files (x86)¥Adob ート時に読み込む	se¥Acrobat DC¥PDFMak	er¥Office¥PDFMOffi	? × OK キャンセル 追加(<u>A</u>) 削除(<u>B</u>) ceAddin.dll
6	アドイン追加によるタブが消	<mark>,</mark> 5, 0 ,		4. ********	×	書 1 - Word	
	えたことを確認したら、Office	ファイル ホーム 挿入	デザイン レイアウト 游明朝 (本文(* 10.	参考資料 差し込み文 5 ▼ A* A [*] Aa - १	■校開表示		してください ダ あア
	アプリケーションを終了	L」 EBコピー 貼り付け ▼ ◆ 書式のコピー/貼り/ クリップボード	т _ы В <u>I</u> <u>U</u> → анас ж	2 x² 🛛 A + 🥙 + 🛕 + 🛯		🏣 - 🖄 - 🖽 - 段落	_ ↓ 標

⑦ 全ての Office アプリケーションで①~⑥の作業を繰り返す

7.2. 既定のプログラムの設定

試験実施に必要なソフトウェアを既定のプログラムに設定します。

※Windows のバージョンにより、画面の表示が異なる場合があります。

- ① コントロールパネル>[プログラム]>[既定のプログラム]>[既定のプログラムの設定]を選択
- [Web ブラウザ] で設定されている 項目をクリックして、「アプリを選 ぶ」のメニューから [Microsoft Edge] 選択

「切り替え前に〜」のメッセージが 表示された場合は、[強制的に変更す る]を選択

設定		– 🗆 X
◎ ホーム	既定のアプリ	
設定の検索	既定のアプリの選択	既定のアプリの選択
דדע	Х-Л/ 	音楽を聴くとき、写真を見るとき、メール を確認するとき、ビデオを見るときなどに 使うアプリを選択します。
Ξ アプリと機能	x-1/2	Microsoft で推奨されている既定のアプ リに戻す場合は、[リセット] を使います。
!⇒ 既定のアプリ	マップ	既定のプログラムの変更に関する情報を 確認する
ロ1 オフライン マップ	् रण् <i>र</i>	
		質問がありますか?
Neb 941980799	音楽プレーヤー	ヘルプを表示
ロョ ビデオの再生	Groove ミュージック	Windows をより良い製品に フィードバックの送信
	フォトヒ アプリを選ぶ	
	Microsoft Edge Windows 10 で視識	
	LTT Internet Explorer	
	こ ストアでアブリを探す	
	Web	
	C Microsoft Edge	

 続いて、「メール」で設定されている項目をクリックして、「アプリを選ぶ」のメニューから「Outlook」または [Outlook 20XX]を選択



7.3. IME ツールバーの設定

7.3.1. IME ツールバーをタスクバーに固定する設定(MOS 2019/2016、VBA エキスパート)

MOS 2019/2016、VBA エキスパートを実施する場合は、IME ツールバーをタスクバーに固定します。

← 設定 ① スタートボタンをクリック> 設定 Windows の設定 (歯車のアイコン) > 検索ボック スに「キーボードの詳細設定」と入 キーボードの詳細設定 キーボードの詳細設定 カし、表示された設定をクリック 絵文字パネルの設 システム
 ディスプレイ、サウンド、通知、電源 **三〇** デバ1 ネットワークとインターネット Wi-Fi、 増内モード、VPN 既定の入力方式よりも優先 使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する アプリ アンイ 📼 アプリウィンドウごとに異なる入力方式を使用する 個人用設定 背景、ロック画画、色 時刻と言語 音声認識、地域、日付 月期、取場、家 「使用可能な場合にデスクトップ (2) ← 19定 ð 言語バーを使用する」にチェックを ☆ キーボードの詳細設定 入れる *一部の設定が組織によって非表示になっているか、管理されています。 既定の入力方式の上書き 質問がありますか? ヘルプを表示 言語リストの景初の入力方式と異なる入力方式を使用する場合は、ここで 選択します 言語リストを使用します (推奨) [言語バーのオプション]をクリッ (3) 入力方式の切り替え ク □ アプリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する ✓ 使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する 言語バーのオブション ④ [言語バーアイコンをタスクバーで表示する] の項目 🝰 テキスト サービスと入力言語 × と[タスクバーに固定する] にチェックを入れて[OK] 言語バー キーの詳細設定 言語バー ボタンをクリック ○ デスクトップ上でフロート表示する(F) ● タスク バーに固定する(D) ○ 表示しない(H) □ 言語バーがアクティブでないときは透明で表示する(N) 🗹 言語バー アイコンをタスク バーで表示する(I) □ 言語バーのテキスト ラベルを表示する(E) OK **キャンセル** 適用(A) MOS2019/2016、VBA エキスパートを実施する場合、 🖸 A 🐸 🗭 🥔 👯 🧏 IME ツールバーはデスクトップ上にフロート表示せず、 注意! タスクバーに固定してください。

7.3.2. IME ツールバーをフロート表示に設定(MOS 2013、IC3、ACA、MTA、MCF)

主に MOS 2013 を実施するマシンでは、IME ツールバーをデスクトップ上でフロート表示にします。

← 設定 × ① スタートボタンをクリック> 設定 Windows の設定 (歯車のアイコン) > 検索ボック キーボードの詳細設定 スに「キーボードの詳細設定」と入 = キーボードの詳細設定 カし、表示された設定をクリック ネットワークとインターネット Wi-Fi、 機内モード、VPN 🧰 使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する 個人用設定 音景、ロック画画、色 時刻と言語 宣声認識、地域、日付 77 アプリウィンドウごとに異なる入力方式を使用する 「使用可能な場合にデスクトップ (2) 投定 ☆ キーボードの詳細設定 言語バーを使用する」にチェックを *一部の設定が組織によって非表示になっているか、管理されています。 入れる 質問がありますか? 既定の入力方式の上書き 、ルプを表示 言語リストの慶初の入力方式と異なる入力方式を使用する場合は、ここで 選択します 言語リストを使用します (推奨) [言語バーのオプション] をクリッ 3 入力方式の切り替え ク □ アブリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する ✓ 使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する ④ [言語バーアイコンをタスクバーで表示する] の項目 と [デスクトップ上でフロート表示する] にチェック

を入れて [OK] ボタンをクリック

🝰 テキスト サービスと入力言語	×
言語パー キーの詳細設定	
言語/(-	
●デスクトップ上でフロート表示する(E)	
○ タスク パーに固定する(D)	
○表示しない(出)	
□ 言語パーがアクティブでないときは透明で表示する(<u>N</u>)	
☑言語パーアイコンをタスクパーで表示する(D)	
□ 言語パーのテキスト ラベルを表示する(<u>E</u>)	
OK キャンセル 適用(A	0

注意!

Office 2013 がインストールされた試験環境で VBA エキスパートを実施するときは、 Microsoft IME ツールバーをタスクバーに固定(最小化)してください。MOS 2013 やその 他試験を実施するときは、フロート表示に設定しなおしてください。 7.3.3. 画面中央に IME 入力モード切替の通知を表示する(Windows10 20H2 の場合)

Windows10 20H2 では、入力モード切替時の画面通知が初期設定では表示されません。 以下の操作で通知が画面中央に表示されるように設定してください。

互換性

- ① タスクバーの文字入力アイコン[A あ]を右クリックし、[設定]をクリック
- ② [Microsoft IME]が表示されたら[全般]をクリック
- ③ 画面をスクロールし[以前のバージョンの Microsoft IME を使う]をオンにする
- ④ 以前のバージョンの Microsoft IME を使用し ますか?」メッセージが表示されたら[OK]を クリック
- ⑤ IME ツールバーの[ツール]ボタンをクリックし、[プロパティ] を選択





 ⑥ [IME 入力モード切替の通知]の[□ 画面中央に 表示する]にチェックを入れ、OK を押す

💦 Microsoft IME の設定	– 🗆 X
予測入力	
☑ 入力履歴を使用する(H)	入力履歴の消去(L)
誤変換	
□ 誤変換データを自動的に	送信する(C)
	<u>フライバシーに関する声明を読む</u>
IME人力モード切替の通知 -	
☑ 画面中央に表示する	
	•
詳細設定(A)	
	OK キャンセル

7.3.4. 予測入力を無効にする設定

試験中に予測入力がされないように設定します。

① IME ツールバーの[ツール]ボタンをクリックして、[プロパティ]を選択
 ○ IME パッド(P)
 単語の登録(Q)
 ユーザー辞書ツール(D)
 追加辞書サービス(Y) ・
 検索機能(S) ・
 誤変換レポート(Y)
 ブロパティ(R)
 キャンセル

⁸ 艮 Microsoft IME の設定		-		\times
予測入力				
☑ 入力履歴を使用する(H)	入力履	歴の消去	. (L)	
誤変換				
□ 誤変換データを自動的に送信	する(C)			
	プライバシ	ノーに関す	る声明を	<u> 読む</u>
IME入力モード切替の通知				
☑ 画面中央に表示する				
詳細設定(A)				
	OK		キャンセ	V

② [詳細設定]をクリック

③ [予測入力] タブの [予測入力を使用する] のチェックを外して [OK] をクリック

💦 Mic	rosoft IM	Eの詳細設定				×
全般	変換	和英混在入力	辞書/学習	オートコレク	予測入力	ライバシー その他
静定]予測入;	力を使用する(U)		•		
	□ 入力	履歴のデータを使用	月する(1)	入:	力履歴の消去((C)
	 シスラ 	テム辞書のデータを使	吏用する			
	予測候	補を表示するまでの	(文字数(L):	1		
	予測入;	カサービス(S)				
		。 クラウド候補 9 住所 りんな				情報(B)
		ОК		キャンセル	適用(A)	ヘルプ

7.4. Adobe Acrobat Reader DCの設定

7.4.1. Adobe Acrobat Reader DC のインストール

試験結果レポートを印刷するために Adobe Acrobat Reader DC のインストールが必須となります。

Adobe の Web サイト(https://get.adobe.com/jp/reader/)から最新の Adobe Acrobat Reader を ダウンロードして、試験マシンにインストールしてください。

注意 1 サポートするバージョンは最新版の DC です。バージョンが 19 より古い場合は最新版に更新してください。古いバージョンだと Compass が起動しません。



7.4.2. Adobe Acrobat Reader DC の設定

- ② メニュー [編集] > [環境設定] をクリック
- ③ 左メニュー [分類] の [インターネット] > [デフォルトで閲覧モードで表示] のチェックを外す
- ④ 左メニュー[分類]の[セキュリティ(拡張)]>[起動時に保護モードを有効にする]のチェック を外す
- ⑤ [OK] ボタンをクリック

Ctrl+T

Ctrl+N

Ctrl+Shift+O

>

7.5. Microsoft Edge の設定

① Microsoft Edge を起動し、右上の[...]をクリックし[設定]を選択 S ☆ @ @ ₽ 🙎 … 画 新しいタブ(T) 新しいウィンドウ(N) 「扉 新しい InPrivate ウィンドウ(I) Ctrl+Shift+N - 100% + 🗸 ズーム ☆ お気に入り(0)

② [プライバシー、検索、サービス]を選択し、[閲覧データをクリア]>[ブラウザーを閉じるたびにク リアするデータを選択する]をクリック

設定	閲覧データをクリア	
▶ 設定の検索	これには、履歴、パスワード、Cookie などが含まれます。このプロファイルのデータのみが削除されます。データ	7の管理
国 プロファイル	今すぐ閲覧データをクリア	クリアするデータの選択
 台 ブライバシー、検索、サービス ◎ 外観 	ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する	>

(5) 設定(S) ? ヘルプとフィードバック(B)

組織が管理

Microsoft Edge を閉じる(M)

- ③ 以下3つの項目をオン(青い表示)に設定する
 - ・[Cookie およびその他のサイト データ]
 - ・[パスワード]
 - ・[オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む)]

← プライバシー、検索、サービス / 閉じるときに閲覧データをクリアする	
ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する	
閲覧の風歴 6,602 個の頃目。アドレス バーにオートコンプリートが含まれています。	
ダウンロードの履歴 31 個の項目	$\overline{\bullet}$
Cookie およびその他のサイト データ 1,413 個のサイトから、ほとんどのサイトからサインアウトします。	
クリアしない 次のサイトの Cookle は、プラウザーを閉じてもクリアされません。	追加
追知にマルビサイトはありません キャッシュされた画像とファイル 319 MB を解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。	
パスワード 25 個のパスワード (softbanktelecom.co.jp. certiport.com, その信 23 個)	
オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む) 3 件の住所、その他 1,564 件の候補	
サイトのアクセス許可 7 個のサイト	•
ホストされたアプリのデータ 1 毎のアプ): Microsoft Store.	

- ④ 設定タブを閉じる
- サポートするバージョンは Chromium 版のみです。 注意1 レガシー版(2020年1月15日以前のVer)はサポートいたしません。 Microsoft Edge Chromium 版はブラウザ起動中のオートフィル機能を無効化できません。 注意 2 1 試験終了ごとに必ず Microsoft Edge を終了し、閲覧データをクリアしてください。

7.6. Microsoft .NET Framework の確認

Microsoft .NET Framework 4.8 (Windows 10 バージョン 1909、20H2) または 4.7 (Windows 10 バージョン 1803 のみ) が有効になっていることを確認します。

- コントロール パネル > [プログラム] > [Windows の機能の有効化または無効化] > をクリック
- ② [.NET Framework 4.7 または 4.8 Advanced Services]のチェックボックスが「■」になって いることを確認 空欄の場合は、チェックボックスをクリックして 有効にする



7.7. 標準設定バッチファイル作成(MOSのみ)

Excel の数式バーの復元、IME の標準設定、ハイパーリンクのアドレス(履歴アドレス)などのクリア を行うバッチファイルを作成します。試験前にバッチファイルを実行して、設定を標準状態にもどして ください。

- 会場サポートサイト TOP>試験マニュアル> Compass セットアップマニュアル に掲載している「標準設定バッチファイル」を任意のファイル名で任意の場所に保存
- ② 保存したファイル名の拡張子「.txt」を「.bat」に変更
- ③ 作成したバッチファイルを管理者として実行



作成したバッチファイルをスタートアップに追加すると、試験中にトラブルなどでマシンを 再起動した場合、再開後に試験中の作業履歴などが初期化されてしまうため、スタートアッ プには追加しないでください。

8. Compass の設定

8.1. Compass のセットアップの流れ

Compass のセットアップ方法の大まかな流れは以下の通りです。本マニュアルに従い、漏れのないように各設定を行ってください。



注意! 試験官以外の方が Compass のセットアップを行う場合は、技術担当者として登録が必要 です。サポート窓口までご連絡ください。 8.2. Compass のインストール

- ① インストール前に Windows 10 の設定、Office の設定が正しくされているか確認
- ② Adobe Reader DC がインストールされていることを確認
 ※ DC 以外の Reader はご利用になれません。
- ③ 会場サポートサイトで案内する方法でダウンロードした「Compass_Setup.exe」をダブルクリック
 * 古いセットアップファイルは使用せず、必ず最新版を利用してください。
- ④ ユーザーアカウント制御のメッセージが表示されるので、[はい]を選択
- ⑤ インストールウィザードが起動したら、「言語の選択」が [Japanese] になっていることを確認して [次へ] ボタンをクリック
- ⑥ インストール先のパスが「C:¥Certiport¥Compass」であることを確認して、[次へ] ボタンをク リック
 ※ インストール先は、変更しないでください。
- ⑦ インストール完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリック

8.3. 試験環境の準備

Compass をインストール後、試験会場の設定とアップデートを行い、試験コンテンツのダウンロード を行います。更新ファイルがある場合は、アップデートの通知が自動的に表示されます。

- 8.3.1. 初期設定(試験会場と更新のタイミングの設定)
- ① デスクトップの「Compass」ショートカットアイコンをダブルクリック
- ② ユーザーアカウント制御のメッセージが表示されたら、[はい]を選択

3	試験官の受験者 ID とパスワードを入力し		– Japanese	,	×
		協行するには、 XX時間10 でログインして、 このコンビューターに扱うけるXX後命号を発展してください。 ようこそ]	
		ログインして受験してください。 (*80巻404時間です) 変換戦0・ /スワード・			
4	「管理者 ホーム」 が表示される	ログイン・ 原発的のパスワードを定れた方			
5	「設定」リンクをクリック 「試験会場の選択 : 」一覧から、試験を実 施する試験会場を選択	武铁会坦 武装会每0星来: 武装会与UD:	~]	

言語

Odyssey Testing Center Yurakucho (90001684) (GRA)OCI QC Test (90018523)

6	「雨新のタイミング」け「毛動」を選択	
		更新リスト 更新のタイミング ● 町日 ■ 単語 「予約 (24時間表示) 00:00
	プロキシ利用の場合は、必要事項を入力	プロキシサーパー経由で接続するように Compass の最定を変更します。 プロキシサーパー経由 プロキシサーパーを使用 アドレス ボート番号 0 ユーザー名 パスワード パスワードの向入力
8	画面最下部の [Save] ボタンをクリック	パスワードの用入力 Cancel
9	Compassのログイン画面に切り替わるの で、左上の会場名を確認	● Company C C E R T I PORT → MARKING NEMBER Odyssey Testing Center Yurakucho (90001684) ようこそ ログインレて受験してください。 パロシード・
続し	Nてアップデート作業を行ってください。	ロクイン 受援的のたたなードを変わた力 交援的のたち成していません

8.3.2. アップデートの適用

インストール時の状況により、アップデートの適用作業が不要な場合があります。

「更新はありません」と表示されている場合は、「8.3.3. 試験のダウンロード」に進んでください

- ① 試験官の受験者 ID でログイン
- ② 「管理者 ホーム」が表示される
- ③ [更新リスト] リンクをクリック

A PE	ABON VEE BUSINESS	
● 管理者 ホーム		
■ 試験の管理 ■ インベントリ	管理者 ホーム	2000-018
▲ 更新リスト	atte的後の更新 2 exam updates are available.	
o 設定	<u>アップデートの表示</u>	
About Compass	システム システムのアップデートはありません。	
	アップデートの設定 現在の設定:: Manual	
	最終更新日:0001-01-01 00:00:00	
	そのシストレール	
	受験に関するルール	

④ アップデート一覧が表示されたら、[選択した更新を ダウンロード] ボタンをクリック

	8¥MI	リリース情報
2	ITS Secure Browser for Certiport and Pearson Vue Compass exams and setup.	None
R	ITS Secure Browser for Certiport and Pearson Vue Compass exams and setup.	None

注意1 弊社からの案内がない限り項目のチェックは外さないでください。

注意 2 アップデートがない場合は、「更新はありません」と表示されます。

⑤ 更新が終わると「更新はありません」と 表示される

₩ 管理者 ホーム	
■ 試験の管理 ■ インペントリ	
	アップデート一覧
▲ 更新リスト	四代化学71 由1 4
🛓 Import / Export	ENING JOK UK.
 設定 	
About Compass	更新はありません。

続いて試験のダウンロードを行ってください。

8.3.3. 試験のダウンロード

① [試験の管理]をクリック		▲オデッセイ語
		1480.013
 ② [試験をダウンロードする] ボタンをクリ ック 	 ● 世場音ホーム ■ があの公布 ■ インベントリ ● 差にリスト ■ import / Export ● 放売 	38659020-F18
③ 右上のドロップダウンリストから[すべての詞 を選択	式験] 試験のダウンロード	インペントリのある試験 インペントリのある試験 すべての55年
④ 実施する試験の[v]ボタンをクリック	試験のダウンロード ■ すべての試験 ■ Adobe Certified Associate ▼ ■ IC3 Digital Literacy Certification ▼ ■ Microsoft Technical Certifications ▼	ペントリのある試験 ・
		試験のダウンロード

⑤ 実施する試験のみにチェックをいれて、[試験のダウンロード] ボタンをクリック

【MOS 2019 を実施する場合】

試験のダ	ウンロード	すべての試験	· .
□ すべての試験			
Adobe Certified	d Associate 🗸		
Autodesk Certi	ified User 🗸		•
IC3 Digital Liter	racy Certification 🗸		
Microsoft Certi	ified Educator 🗸		
Microsoft Offic 2016 (7)	e Specialist A		
Microsof	Microsoft Office 365 and Office 2019 (6) 🔺		
	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		
	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		
	𝔅 Microsoft Excel Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		
	C Microsoft PowerPoint (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		
	Microsoft Word (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		
	Microsoft Word Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		

【MOS 2016 を実施する場合】

試験	iのダウンロード	すべての試験	٠
■ すべ	ての試験		
Ado	be Certified Associate 🗸		
Auto	odesk Certified User 🗸		
IC3	Digital Literacy Certification 🗸		
🗆 Mici	osoft Certified Educator 🗸		
	fr Office Secolalist		
	2016 (7) 🔺		
	Microsoft Access (Office 2016)		
	Microsoft Excel (Office 2016)		
	Microsoft Excel Expert (Office 2016)		
	Microsoft Outlook (Office 2016)		
	☑ Microsoft PowerPoint (Office 2016)		
	Microsoft Word (Office 2016)		
	Microsoft Word Expert (Office 2016)		

注意! MOS 2019・MOS 2016 マシンでは仕様により両方の試験科目が表示されますが、実施 する科目のみをダウンロードしてください。 実施しない科目をダウンロードすると、科目選択間違い・インベントリ誤使用の要因とな ります。

⑥ 試験のダウンロードがはじまる

試験のダウンロード	すべての試験	•
ダウンロードの準備をしています。		
■ すべての試験		

ダウンロードが完了しました

- ⑦ ダウンロードが完了したら、[試験の管理]をクリック
- ⑧ ダウンロード済の試験の一覧が表示される

ダウンロー	ダウンロード済みの試験	
試験プログラム	科目名	
Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)	
Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019) - Configuration Exam	リハーサルの実施

試験のダウンロード

MOS を実施する場合は、続いてリハーサル試験を行ってください。

参考! 試験マシンが複数ある場合は、「8.7 更新ファイルのインポートとエクスポート」の項目を 参照してください。

▲ 更新リスト

土 Import/Ex

すべての試験

8.4. リハーサル試験の実施(MOSのみ)

リハーサル試験を実施して、試験プログラムが正常に起動するか確認します。

(MOS 以外の試験にリハーサル試験はありません。)

- ① 試験官の受験者 ID でログイン
- ② [試験の管理]をクリック
- ③ リハーサルを実行する科目の[リハーサルの実施]ボタンをクリック 【MOS2019/2016】
 【MOS2013】

1理者 ホーム					77-424: MOS: Microsoft Office Access 2013	Microsoft Office Specialist
&の管理 シベントリ	ダウンロー	ド済みの試験	MRをダウンロードする	E インヘンドリ	77-425: MOS: Microsoft Office Word 2013 Expert Part 1	Microsoft Office Specialist
更新リスト Import / Export	試験プログラム	科目告		▲ 要新リスト ± Import/Export	77-426: MOS: Microsoft Office Word 2013 Expert Part 2	Microsoft Office Specialist
r i i	Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)		o tesi:	77-427: MOS: Microsoft Office Excel 2013 Expert Part 1	Microsoft Office Specialist
out Compass	Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019) - Configuration Exam	リハーザルの認識	Office Compatibility About Compass	77-428: MOS: Microsoft Office Excel 2013 Expert Part 2	Microsoft Office Specialist
	Microsoft Office Specialist	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps and Office 2019)			MOS Access 2013 Config Test	Microsoft Office Specialist

※MOS2019/2016 は科目名に「Configuration Exam」と表記されている科目、MOS2013 は 「config test」と表記されている科目に[リハーサルの実施] ボタンが表示されます。

④ リハーサル試験が開始します。

[MOS 2013]

- リハーサル用のチュートリアルが表示されます。
- リハーサルの試験時間は10秒です。

試験時間が短いため、解答操作はせずに [終了] ボタン (Outlook 2013 は [次へ] ボタン)をクリックするか、 [試験時間終了] メッセージが表示されるまで待ち [OK]

ボタンをクリックして動作確認を終了してください。

[MOS 2016]

チュートリアルは本試験と同じものが表示されます。 リハーサルの試験時間は1分です。

IME ツールバーが非表示化されるので、実際に文字を入力 して半角/全角キーで切り替えができるかなどを確認してく ださい。

試験後のコメント画面では何も入力せずに、リハーサル試 験を終了してください。

【MOS 2019】

チュートリアルは本試験と同じものが表示されます。 リハーサルの試験時間は無制限です。

IME ツールバーをフロート設定にしていると表示異常が発生します。必ずタスクバーに格納してください。

グレーアウトして使用できないタブ機能が無いかをご確認 ください。

確認が完了したら、リハーサル試験を終了してください。







完了

⑤ リハーサル試験を終了すると[試験の管理] 画面に戻り、リハーサルを実施した	ダウンロード済みの試験		
科目の横に「完了」が表示される	試験プログラム	科目名	
	Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019)	
	Microsoft Office Specialist	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019) - Configuration Exam	リハーサルの実施

注意1リハーサル試験では、試験結果レポートの印刷確認画面は表示されません。
試験官の受験者 ID で Certiport Web Portal にログインして、ご自身のデジタル認定証ペ
ージから、試験結果レポートを表示・印刷できるかご確認ください。注意2リハーサル試験を実施した後に表示される「完了」ボタンは、管理者画面の違うメニューを
表示させると表示がリセットされます。

8.5. 試験会場の変更

試験会場の変更が必要な場合は、下記の手順で試験会場の設定を変更してください。

① Compass に試験官の受験者 ID でログイン

2	「管理者 ホーム」が表示されるので、[設	CERT	
	定] をクリック	● 管理者 ホーム	
		■ 試験の管理	管理者ホーム

			• // / / C1 P
	A PEARDO	ON YUE BOSINESS	
♠ 管理者 ホ	-4-		
■ 試験の管理	E.		
≡ インペン	-y	管理者 ホーム	は彼の死後
▲ 更新リス		試験間違の更新	
🛓 Import / E	xport	試験関連のアップデートはありません。	
● 設定		システム	
About Co	mpass	システムのアップデートはありません。	

 「試験会場 ID:」のドロップダウンリストから変更 する会場を選択

試験会場	
就映会唱ID:	
Odyssey Testing Center Yurakucho (90001684)	~
Odyssey Testing Center Yurakucho (90001684) (GRA)OCI QC Test (90018523)	

④ 画面最下部の [Save] ボタンをクリック

Cancel		
Compass		
CERTIPORT		Japanese

バスワードの再入力

5	Compass のログイン画面に切り替わる
	ので、左上の会場名を確認する

Compass			-	a
			Japanese	
(GRA)OCI QC T	est (90018523)			
	ようこて ログインして受験してください。			
	(*印の欄は山湖国日です)			
	受败者iD *			
	パスワード*			
		ログイン		

8.6. IC3 の事前確認

IC3 は試験のダウンロード時に試験の実施に必要なソフトウェアがインストールされます。付属するソフトウェアが正しくインストールされているか、試験前に必ずご確認ください。

8.6.1. 付属のソフトウェアのインストール確認

- コントロール パネル > [プログラム] > [プログラムの アンインストール] をクリック
- プログラムの一覧で、Compassのほかに下記のソフトウ ェアがインストールされていることを確認
 - Certiport Lockdown Service
 - IIS 7.5 Express



8.6.2. 付属ソフトウェアの再インストール

IC3の実施に必要なソフトウェアがインストールされていない、正常に動作しないなどの場合は、以下の手順で付属のソフトウェアを再インストールしてください。

- ① C:¥Certiport¥Compass¥Tools¥RequiredInstallers フォルダーを開く
- 不足しているソフトウェアのインストーラー (*.msi または*.exe)をダブルクリック

📙 « Certiport » Co	mpass > Tools	> RequiredInstallers
名前	^	
iisexpress_1_11_	86_en-US.msi	
1 LockdownSetup	exe	

- ③ インストーラーに従ってソフトウェアをインスト ール
- 注意! インストール後、必ず試験マシンを再起動してください。

8.7. 更新ファイルのインポートとエクスポート

試験マシンが複数ある場合、2 台目以降のマシンの更新は、インポートとエクスポートの機能を利用されることをお勧めします。

8.7.1. 更新ファイルのエクスポート(1台目マスター用の準備)

マスター用マシンで更新データを保存したフォルダー「SoftwareUpdate」を作成します。 この「SoftwareUpdate」フォルダーは、異なる OS 間でも利用可能です。ただし、MOS を実施され る場合は、Office のバージョンごとに作成してください。

例)Windows 10 + Office 2016 マシンで全試験を更新し、作成した場合
 インポート先 Windows 10 + Office 2019 マシン →利用不可
 Windows 8.1 + Office 2016 マシン →全試験更新可能

注意! 最新版のセットアップファイルで構築したマシンをマスター用マシンとして準備してくだ さい。旧バージョンからアップデートしたマシンはエクスポートに利用しないでください。

- 「8.2. Compass のインストール」~「8.6. IC3 の事前確認」まで設定を終えたマスター用マシン を準備する
- ② マスター用マシンの Compass に試験官の受験者 ID でログイン

3	[Import/Export]	タイルをクリック
---	-----------------	----------

		▲オデッセイ 読
🖷 管理者 ホーム		
■ 試験の管理		
■ インベントリ	管理者 ホーム	気候の実施
▲ 更新リスト	減険関連の更新	
🛓 Import / Export	試験関連のアップデートはありません。	
မားဆီ မားဆီ	システム システムのアップデートはありません。	

④ [Export Updates] ボタンをクリック



⑤ [フォルダーの参照] ダイアログボックスで、
 エクスポートするファイルの保存先に「デスクトップ」を選択して、[OK] ボタンをクリック





⑥ 「アップデートをエクスポートしています。」のメッセージが表示される

⑦ 「アップデートのエクスポートが完了しました。」
 のメッセージが表示されたら、Compass を閉じる

Import Updates / Export Updates	
アップデートのエクスボートが充了しました。	Export Updates Import Updates

⑧ デスクトップに「SoftwareUpdate」フォルダーが作成されていることを確認



8.7.2. 更新ファイルのインポート(2台目以降のマシン)

① インポートを行う2台目以降のマシンのデスクトップに「更新」フォルダーを作成する

参考 「更新」フォルダーは、リムーバブルメディアなどに作成することも可能です。

- 作成した「更新」フォルダーに、「8.7.1.更新ファイルのエクスポート」で作成した 「SoftwareUpdate」フォルダーを保存する
- ③ インポートを行うマシンに「8.2.Compass のインストール」~「8.3.1.初期設定(試験会場と更新のタイミングの設定)」までの設定を行う
- ④ 管理者メニューで、[Import/Export] タイルを クリック
- ⑤ [Import Updates] ボタンをクリック

● 管理者 ホーム		
■ 試験の管理		
■ インベントリ	管理者 ホーム	55年の実施
▲ 奥新リスト	試験翻译の更新	
🛓 Import / Export	試験関連のアップデートはありません。	
♦ 設定	システム	
About Compass	システムのアップデートはありません。	

Import Updates / Export Updates	
	Export Updates Import Updates

- ⑥ [フォルダーの参照]ダイアログボックスで、①で作成した「更新」 フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリック
 - ※「SoftwareUpdate」フォルダーを選択しないでください。 アップデートに失敗します。

フォルダーの参照	×
> 💻 PC	^
> 🀂 ライブラリ	
> 💣 ネットワーク	
> 📴 コントロール パネル	
💭 ごみ笠	
✓ □, 更新	
 SoftwareUpdate 	
3841.1.0.7	
2041 (20 1 0 0	•
新しいフォルダーの作成(<u>N</u>) OK	キャンセル

⑦ 「アップデートをインポートしています。」のメッセージが表示されたのちに、「アップデートのインポートが完了しました。」が表示されたら、Compassを閉じる

Import Updates / Export Updates アップデートのインボートが充了しました。 Export Updates Import Updates

注意! 一度ログアウトしないとインポートが反映されません。

- ⑧ Compass を起動し、試験官の受験者 ID でログイン
- ⑨ [試験の管理]をクリック

		▲オデッ
希 管理者 ホーム		
■ 試験の管理 ■ インベントリ	管理者 ホーム	SAROJSK
▲ 更新リスト ▲ Import / Export	試験間语の无新 試験構通のアップデートはありません。	
● 設定 ● About Compass	システム システムのアップデートはありません。	

11 ダウンロード済の試験の一覧を確認する

MOS 実施の場合は、続けてリハーサル試験を 行ってください。

♣ 管理者 ホーム			
■ 試験の管理 ■ インペントリ	ダウンロー	ド済みの試験	記録をダウンロードする
▲ 更新リスト ▲ Import/Export	試験プログラム Microsoft Office	科目名	
● 認定 ☑ Office Compatibility	Specialist Microsoft Office	Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019) Microsoft Access Expert (Microsoft 365 Apps and Office 2019) -	110_HIL69#
About Compass	Specialist Microsoft Office	Configuration Exam Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps and Office 2019)	

8.8. その他の項目について

8.8.1. About compass

メニュー[About compass]では Compass のバージョンを確認できます。 最新のバージョン情報については会場サポートサイト TOP>試験システム>Compass(セットアップ ファイルのダウンロード、アップデート情報) をご確認ください。

╋ 管理者 ホーム			
■ 試験の管理			
■ インベントリ	About Compass		
▲ 更新リスト	· · ·		
🛓 Import / Export	Compass:	xx.x.x.xxx	
✿ 設定	DnR:	Not Installed	•
Office Compatibility	ITS:	Not Installed	
About Compass	ITS_WTD:	Not Installed	
	CPNow:	XX.X.X.XXX	

8.8.2. Office Compatibility

インストールされている Office 製品の環境により表記が異なります。

クイック実行(Click to Run)形式の場合

メニュー[Office Compatibility]では[Build]の欄にてインストールされている Office 製品のバージョン を確認できます。サポートしているバージョンでは無い場合、指定のバージョンに戻してください。

対象の第1日						
I SLOROJ BLAS						
インペントリ	Office Compati	bility				
更新リスト	Office Information					
Import / Export	Product	Channel	Version	Build	Compatible Exams	Additional Info
拉定	Office 2016 (32-bit)	Monthly	1611	16.0.7571.2109	Office 2016	
Office Compatibility	Office 2016 (32-bit)	Monthly	1611	16.0.7571.2109	Office 2016	
About Compass			0.000000	1201000-012-002-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-0		

注意!

Product が「×」の場合、Office 製品が最新のバージョンになっている可能性があります。

Windows インストーラー (MSI) 形式の場合

「Compatibility Error」と表示されますがトラブルではありません。バージョン情報は、コントロール パネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] よりご確認ください。

■ 試験の管理	
■ インベントリ	Office Compatibility
▲ 更新リスト	Compatibility Error
🛓 Import / Export	We are unable to detect the version of Microsoft Office installed. It is likely for the following reasons:
✿ 設定	 Office was installed using the MSI installer which was common for Office 2016 and previous versions. Learn more about MSI installer and the Office Build Versions <u>here</u> Office may not be installed. See the steps below to confirm.
Office Compatibility	To confirm the Office install, please follow these steps:
About Compass	 Open any Office application, such as Word or Excel. Choose File > Account. Under Product Information, note the version number under the About section. Please contact Certional Technical / Customer Support with further questions.
	2. Choose rine > Account. 3. Under Product Information, note the version number under the About section. Please contact <u>Certiport Technical/Customer Support</u> with further questions.

8.9. Compass のアンインストール

Compass をアンインストールするときは、必ず下記の手順で行ってください。

- デスクトップのタスクバーにある、[エクスプローラ]
 アイコンをクリック
- [ドキュメント]を右クリック > プロパティ を選択して [ドキュメントのプロパティ]を開く
- ③ 場所のタブをクリック
- ④ 「C:¥Users¥○○○¥Documents」の○○○の箇所が
 現在ログインしているユーザーアカウントと同じで
 あることを確認



⑤ 違う場合は [標準に戻す] ボタンをクリック

注意! 既定の場所に設定されていないと、Compassのアンインストールに失敗します。 必ずドキュメント フォルダーが既定の場所にあることを確認してください。

⑥ コントロール パネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] をクリック

0	Compass を選択して、[アンインストール]をクリッ ク	プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。				
		整理 ✔				
8	アンインストール作業の続行を確認するメッセージが 表示されたら [OK] ボタンをクリック	名前 Adobe Acrobat Reader DC - Japanese Adobe Flash Player 17 NPAPI Certiport Lockdown Service CertiportNow ② Compass ③ IIS 7.5 Express ④ Microsoft Office Professional Plus 2016 ⑤ Odyssey CBT				
	* バージョン番号は更新状況により変わります。	Compass 19.0.0.195 Uninstall				
		Uninstalling will delete all Compass components AND any data not uploaded to Certiport. Are you sure you want to proceed?	-			
9	アンインストールが開始される	OK キャンセル				

⑩ 「Completed」が表示されたら、[Close] ボタンをクリック

Compass 19.0.0.	195 Uninstall: Completed	—	\times
Completed			
Ÿ			
Show <u>d</u> etails			

- ① 続いて、以下のプログラムを同様にアンインストール
 - CertiportNow
 - Certiport Lockdown Service
 - IIS 7.5 Express

注意 1	「CertiportNow」のアンインストールでエラーが表示された 場合は、[OK] をクリックしてメッセージを閉じてください。	プログラムと機能 × CertiportNow のアンインストール中にエラーが発生しました。 既にアンインストールされています。 OK
注意 2	上記以外に「Certiport」と付いたプログラムがインストールさ ンインストールしてください。	れている場合は、合わせてア

- C:¥Certiport フォルダーを削除
- ③ 64bit 版 C:¥Program Files (x86)¥Certiport フォルダーを削除
 32bit 版 C:¥Program Files¥Certiport フォルダーを削除
- ⑭ マシンを再起動
- 注意! 迎と⑬の2つの Certiport フォルダーの削除を忘れないでください。

9. 設定チェックリスト

9.1. 必要システム構成

シ.	ステム	必要構成	\checkmark			
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)				
RAM		基本:4GB 以上、ACA:8GB 以上				
HDD · SSD		C ドライブの設定容量 100GB 以上推奨 空きデータ領域 15GB 以上推奨				
OS *1		 Windows 10 Pro 64 ビット版(推奨) *2、または 32 ビット版 November 2019 Update バージョン 1909 October 2020 Update バージョン 20H2 ※PowerPoint 2013、Outlook 2013 を実施する場合は、Windows 10 Pro バージョン 1803 をご利用ください。(バージョン 1803 以外は使用不可) 				
	MOS2019 * 3	Microsoft Office Professional Plus 2019 64 ビット版(Version 1808) Microsoft Office Professional 2019 64 ビット版(Version 1908)				
アプリ	MOS2016 Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版(16.0.4266.100 Microsoft Office Professional 2016 32 ビット版 (16.0.7571.2109)					
ケーシ ョン	MOS2013	Microsoft Office Professional Plus 2013 32 ビット版(SP1 対応) Microsoft Office Professional 2013 32 ビット版(15.0.4569.1507 対応)				
	ACA2020	Adobe Creative Cloud2020 *4 • Photoshop 2020 Version 21.x • Illustrator 2020 Version 24.x				
	サイズ	17 インチ以上				
画面 *5	解像度	基本:1280×1024以上(ワイド画面可)*6 度 MTA、MCF、IC3、VBA エキスパート:1024×768 利用可 ACA:ワイド画面 1280×800以上(推奨:1920×1080)				
	文字サイズ	100%				
キーボー	-ド	JIS 配列 日本語キーボード(106 以上)				
マウス		ボールまたは光学式 2 ボタンホイールマウス				
プリンタ	7—	試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと				
OS アカ	ウント	Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施				
通信理语	<u> </u>	インターネット常時接続				
地口场功	6	HTTP(80 ポート)および HTTPS(443 ポート)で、双方向通信を確立				
704-		Microsoft Edge Chromium版 *7				
その他の ソフトウ))エア	Adobe Acrobat Reader DC				
		Microsoft .NET Framework 4.7以上				

*1 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

*2 MOS2019、ACA2020 は Windows 10 Pro 64 ビット版のみサポートです。

- *3 Build 番号の指定は無く、バージョンが一致していれば問題ありません。
- *4 第三者利用可能な Adobe CC ライセンス(共有デバイスライセンス)が必要です。

*5 複数のモニタ接続は不可。接続している場合は、サブモニタの電源を切ってご利用ください。

- *6 MOS 2013、MOS 2016、MOS2019 はアプリケーション画面が著しく小さくなるため、1024×768 は利用できません。(参考:会場サポートサイト TOP>試験システム>試験別 画面解像度一覧)
- *7 レガシー版(2020年1月15日以前のVer)はサポートいたしません。

9.2. Windows 10 の設定

項目	確認内容	\checkmark
インストール場所	Cドライブにインストールされている	
Windows Update	セットアップ後にリリースされたその他アップデートが適用されていない	
ディスプレイ ドライバー	Windows 10 対応の最新のディスプレイドライバーがインストールされて いる	
ユーザーアカウント 制御の設定	コントロール パネル > [ユーザー アカウント] > [ユーザー アカウン ト] > [ユーザー アカウント制御設定の変更] > [アプリがコンピュータ ーに変更を加えようとする場合のみ通知する(既定)] に設定されている	
試験用の ユーザーアカウント	試験用のユーザーアカウントを Administrator 権限で作成して、セットアップを行っている	
自動更新の無効化 (グループポリシーの 設定)	グループポリシーエディター>コンピューターの構成 >管理用テンプレ ート >Windows コンポーネント >Windows Update >[自動更新を構 成する]>[無効]に設定されている	
Windows Update サービスの停止	コンピューターの管理 > サービスとアプリケーション >サービス > [Windows Update] > スタートアップの種類が [無効] に設定されてい る	
セキュリティに関する メッセージの設定	コントロール パネル > システムとセキュリティ > セキュリティとメ ンテナンス [ユーザー アカウント制御] と [Windows トラブルシューティング] 以 外のチェックを外す	
コンピューター名と ワークグループ	コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [システム] [コンピューター名] と [ワークグループ] が、記号を除く半角英数字の組 み合わせで登録されている	
ドキュメントフォルダ ーの場所	ドキュメント フォルダーが既定の場所に設定されている	
電源プラン	コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [電源オプション] >電源プランを [高パフォーマンス] で作成して、[ディスプレイの電源を 切る] と [コンピューターをスリープ状態にする] を [適用しない] に設定 されている	
	コントロール パネル > [時計、言語、および地域] > [日付と時刻の設定] 日時が正しくない場合は、 [日付と時刻の変更] ボタンをクリックして修正	
日付と時刻	コントロール パネル > [時計、言語、および地域] > [日付、時刻または 数値の形式の変更] > [時刻 (短い形式)] を「H:mm」にして、[時刻 (長 い形式)] を「H:mm:ss」に設定	
スピーカーの音量	タスクトレイのスピーカーアイコンをクリック > [ミュートスピーカー] ボタンをクリック	
拡張子の表示	コントロール パネル > デスクトップのカスタマイズ > エクスプロー ラーのカスタマイズ [表示]タブ > [登録されている拡張子は表示しない]のチェックを外す	
通知とアクションの 設定	スタート>設定 >システム >通知とアクション [ロック画面に通知を表示する] を [オフ] にする	
ディスプレイの設定	スタート>設定 >システム >ディスプレイ [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] を 100%にする	
プリンターの設定	スタート>設定 >デバイス >プリンターとスキャナー 印刷に使用するプリンターが設定されていることを確認	

9.3. Office アプリケーションの設定

項目		確認内容		容	~	
インストールの確認		C ドライブに完全インストールされてい	C ドライブに完全インストールされている			
		ライセンス認証が完了している				
	2010	Office Professional Plus 2019のバー	ジョ	12	ィが「1808」になっている	
	2019	Office Professional 2019 のバージョン	ンが	Γ	1908」になっている	
Office の更新	2016	Office Professional Plus 2016 ・バージョンが「16.0.4266.1001」 ・KB4011681(Word 用)が適用され ・KB4011684(Excel 用)が適用され	Office Professional Plus 2016 ・バージョンが「16.0.4266.1001」になっている ・KB4011681(Word 用)が適用されている ・KB4011684(Excel 用)が適用されている			
		Office Professional 2016 のバージョンが「16.0.7571.2109」になっている		16.0.7571.2109」になっている		
	2013	Office Professional Plus 2013 に SP1(KB2817430)が適用されている				
	2015	Office Professional 2013 のバージョン	ンが	Γ	15.0.4569.1507」になっている	
		ユーザー名が入力されている(スペースのみは、半角全角とも NG)				
データの保	存先、	各アプリケーションの保存先に、現在[ユーザーアカウントが表示されている	コグ・	1	ンしている OS の	
ユーサー名	の唯認	Word			Excel	
		Access			PowerPoint	
Outlook の設定		メールアカウントを設定せずに使用する	る設定	定	を済ませている	

9.4. Adobe Creative Cloud の設定

項目	確認内容	~
インストールの確認	C ドライブにサポートバージョンがインストールされている	
環境設定	Creative Cloud Desktop の [ログイン時に Creative Cloud を起動] の設 定がオフになっている	
	アプリケーションの自動更新がオフになっている	
9.5. その他の設定

項目		確認内容	~
既定のプログラムの設定		Outlook が既定のプログラムとして設定されている	
		Microsoft Edge が既定のプログラムとして設定されている	
IME ツールバ ーの設定	2019	IME ツールバーが、タスクバーに固定されている	
	2016		
	VBA		
	2013	IME ツールバーが、デスクトップの右下に表示されている	
Adobe Acrobat Reader		最新版 DC がインストールされている	
		メニュー [編集] > [環境設定] > 左メニュー [分類] の [インターネッ ト] > [デフォルトで閲覧モードで表示] のチェックを外す	
		メニュー [編集] > [環境設定] > 左メニュー [分類] の [セキュリティ (拡張)] > [起動時に保護モードを有効にする] のチェックを外す	
.NET Framework	Win8.1	NET Framework 4.7 が有効化されている	
	Win10	コントロールパネル > [プログラムのアンインストール] > [Windows の機能の有効化または無効化] >をクリック [.NET Framework 4.7 または 4.8 Advanced Services] のチェックボ ックスが「■」になっていることを確認	
Microsoft Edge		メニュー> [設定] > [プライバシー、検索、サービス] > [閲覧データ をクリア] > [ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを削除する] の設定を行っている	
COM アドインの停止		不要な COM アドインは削除、または停止している	
不要なソフトウェアの 削除、停止		模擬試験ソフトや講座用ツールは削除、または停止している	
		セキュリティソフトは削除、または停止している	
		設定を初期化するツールやソフトウェアは削除、または停止している	
標準設定バッチの作成		標準設定バッチファイルを作成している	

9.6. Compassの設定

項目	確認内容	~
	試験会場名と試験会場 ID が正しく表示されている	
試験会場の設定と アップデート	更新のタイミングが「手動」に設定されている	
	更新が適用されている	
試験のダウンロード	「試験の管理」画面に実施する試験が表示されている	
結果レポートの印刷	試験結果レポートを表示・印刷できる	